

# 鎌ヶ谷市地域福祉に関する 市民アンケート報告書

令和2年3月

鎌ヶ谷市



## 目次

1	調査の概要.....	1
2	調査結果の総括.....	2
3	調査結果.....	7
	（1）あなたご自身についておたずねします。.....	7
	（2）お住まいや居住の状況についておたずねします。.....	9
	（3）ご自身の生活の状況についておたずねします。.....	13
	（4）日ごろの悩みや相談の状況についておたずねします。.....	18
	（5）災害時の対応についておたずねします。.....	22
	（6）「地域」との関わりについておたずねします。.....	24
	（7）地域活動、福祉活動の状況についておたずねします。.....	31
	（8）障がいのある方との関わりについておたずねします。.....	37
	（9）福祉に関するお考えについておたずねします。.....	45
4	自由回答.....	58
5	資料編.....	64



# 1 調査の概要

---

## (1) 調査の目的

本調査は、「鎌ヶ谷市地域福祉計画」の見直しと次期計画の策定にあたり、近所付き合いや地域活動への参加状況等の実態及び市民の考え方や意識の傾向を把握し、誰もが住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らせるよう、市民と福祉関係者、行政がお互いに協力しながら“思いやりと支えあいのあるまち かがや”を形づくるための今後の地域福祉施策を検討する上での基礎資料とすることを目的に実施しました。

## (2) 調査設計

- 調査地域：鎌ヶ谷市全域
- 調査対象：住民基本台帳から無作為抽出した市内在住の18歳以上の男女3,000人
- 調査期間：令和2年2月21日～3月9日
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による調査、インターネットによるWEB調査

## (3) 回収結果

配布数	回収数	回収率
3,000件	1,129件	37.6%

※回収結果にはWEB調査も含んでいます。

## (4) 報告書を見る際の注意点

- 回答結果の割合(%)はサンプル数(集計対象者総数)に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単一回答(SA：複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフにおいても反映しています。
- 複数回答(MA：複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表のn数(number of case)は、サンプル数(集計対象者総数あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数)を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

## 2 調査結果の総括

---

### (1)あなたご自身についておたずねします。

- 性別については、「女性」が「男性」を上回っています。
- 年齢については、「60歳代」が21.1%で最も高く、60歳代以上が46.1%を占めています。地区別にみると[中央東][東部][北部]で60歳以上が10～50歳代を上回っており、高齢者の割合が高い結果となっています。

### (2)お住まいや居住の状況についておたずねします。

- 居住地域については、「中央」と「東部」が23.7%と同率で最も高くなっています。
- 居住年数については、「30年以上」が30.5%で最も高く、20年以上居住している人が49.7%、10年以上居住している人が70.6%を占めています。地区別にみると、[中央]で全体と比較して「30年以上」の割合が低く、[中央東]では高くなっています。年齢別にみると、全体と比較して40歳代以下では10年未満の割合が高く、50歳以上では10年以上の割合が高くなっています。
- 同居家族の構成については、「2世代世帯（子と同居）」が35.3%で最も高く、次いで「1世代世帯（夫婦のみ）」が28.5%、「2世代世帯（親と同居）」が16.7%となっています。2世代世帯の合計は52.0%と半数を超えています。地区別にみると、全体と比較して[中央東]で「1世代世帯（夫婦のみ）」、[西部]で「2世代世帯（子と同居）」が高くなっています。さらに、[北部]では「1世代世帯（夫婦のみ）」が高く「ひとり暮らし」が低くなっています。年齢別にみると、[10・20歳代]で「2世代世帯（親と同居）」、[40歳代]で「2世代世帯（子と同居）」、70歳以上で「1世代世帯（夫婦のみ）」が全体と比較して10ポイント以上高くなっています。
- 同居されているご家族に、18歳未満の子どもや65歳以上の高齢者がいるかについては、「65歳以上の高齢者がいる（ご自身が65歳以上の場合も含めて）」が38.9%、「小学生・中学生・高校生の子どものいる」が17.5%となっており、「いない」は35.3%となっています。地区別にみると、全体と比較して[中央]で「小学生・中学生・高校生の子どものいる」、[中央東]で「65歳以上の高齢者がいる」、[西部]・[北部]で「いない」が高くなっています。

### (3)ご自身の生活の状況についておたずねします。

- 同居・別居のご家族に、介護が必要な方がいるかについては、「同居・別居の家族に介護等が必要な人はいない」が68.2%で最も高くなっています。同居・別居の家族のうち、介護等が必要な人の状況については、「高齢者」が最も高くなっています。介護が必要な方の有無については、地区別にみても大きな差はありません。
- 就業状況については、「フルタイムで働いている」が35.3%で最も高く、次いで「特に仕事をしていない」が23.5%、「パートタイムで働いている」が16.9%となっています。就業している人は合計で52.2%と半数を超えています。性別にみると、全体と比較して[男性]で「フルタイムで働いている」が高く、[女性]で「パートタイムで働いている」、「家事等をしている」が高くなっています。

- 日常の生活で介護や支援が必要かについては、「特に介護や支援は必要ない」が90.2%で最も高く、次いで「介護や支援が必要で、介護保険や障害福祉等のサービスを利用している」が3.7%、「介護や支援が必要だが、サービスは利用していない」が2.2%となっています。地区別にみると、[北部]で「特に介護や支援は必要ない」が全体と比較して高くなっています。
- 近所付き合いの程度については、「あいさつをする程度の人がいる」が60.3%で最も高く、「近所の人と付き合いはあまりない、または、まったくない」は12.8%となっています。地区別にみると、全体と比較して[西部]で「お互いの家に行き来したりするなど、親しく付き合っている人がある」が高く、[北部]で「近所の人と付き合いはあまりない、または、まったくない」が低くなっています。居住年数別にみると、全体と比較して3年未満で「近所の人と付き合いはあまりない、または、まったくない」、[30年以上]で「お互いの家に行き来したりするなど、親しく付き合っている人がある」が高くなっています。

#### (4) 日ごろの悩みや相談の状況についておたずねします。

- 日常生活の困りごとや不安を解決していくためにしていること（したこと）については、「家族や友人、知人等に相談した」が28.7%で最も高く、次いで「今後、困りごとや不安を感じた場合、相談や行動をしたいと思っている」が27.1%、「それほどのことではないので、なにもしていない」が23.6%となっています。地区別にみると、全体と比較して[北部]では「家族や友人、知人等に相談した」が高く、「困りごとや不安に感じていることはない」が低くなっています。
- 福祉に関する困りごとが起きた場合の相談相手については、「家族や友人等身近な人」が78.4%で最も高く、次いで「市役所や社会福祉協議会、地域包括支援センター、児童相談所等の相談機関」が54.0%、「インターネット（市のホームページ以外）で情報を入手」が34.9%となっています。一方、「相談しない」は1.1%にとどまっています。地区別にみると、全体と比較して[西部]で「家族や友人等身近な人」、「医師や教師、ケアマネージャー、保育士、福祉施設職員等の身近な専門家」が高くなっています。

#### (5) 災害時の対応についておたずねします。

- 地震や台風等の災害時の避難に関して、不安を感じていることについては、「どんな災害が起きるか分からない」が46.4%で最も高く、次いで「避難等の判断が的確にできるか不安である」が43.8%、「災害時に情報を得られるか不安である」が43.6%となっています。また、「特に不安を感じていることはない」は12.2%となっています。地区別にみると、全体と比較して高い項目は[中央]で「災害時に情報を得られるか不安である」、[東部]で「避難所での生活になじめるか不安である」、[南部]で「避難等の判断が的確にできるか不安である」、「どんな災害が起きるか分からない」となっています。
- 災害時の対策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思うかについては、「災害時に支援を必要とする人の把握」が56.1%で最も高く、次いで「高齢者や乳幼児等の要支援者対象の物資」が47.4%、「防災マップの作成」が45.7%となっています。地区別にみると、全体と比較して[西部]で「災害時に支援を必要とする人の把握」、「高齢者や乳幼児等の要支援者対象の物資」が高くなっています。

## (6)「地域」との関わりについておたずねします。

- 家族や親族以外で、地域で気がかりな人がいるかについては、「特にいない」が69.6%で最も高く、次いで「わからない」が18.2%、「いる」が8.9%となっています。地区別にみると全体と比較して[北部]で「わからない」が高くなっています。気がかりな人については、「本人や家族の介護で困っている」、「地域から孤立している」の割合が高くなっています。
- 気がかりな人に対して、なにかをしているかについては、「気にかけて、見守っている」が60.4%で最も高く、次いで「相談にのったり、助けたりしている(した)」が21.8%、「特になにもししていない」が17.8%となっています。
- 地域の人にも支えてもらうことについてどう思うかについては、「災害時等には支えてほしいと思う」が38.0%で最も高く、次いで「支えてほしいが、難しいと思う」が20.5%、「わからない」が17.3%となっています。地区別にみると、全体と比較して[北部]で「わからない」が高くなっています。
- 自治会に加入しているかについては、「加入している」が72.2%で最も高く、次いで「加入していない」が21.5%、「以前は加入していたが、今は加入していない」が3.8%となっています。地区別にみると、全体と比較して[中央]で「加入していない」が、[東部]と[北部]で「加入している」が高くなっています。
- 自治会に加入していない理由については、「加入するきっかけ(勧誘等)がないため」が30.4%で最も高く、次いで「忙しくて活動する時間がないため」が29.7%、「何の活動をしているのかわからないため」が29.4%となっています。

## (7)地域活動、福祉活動の状況についておたずねします。

- 地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等に取り組んでいるかについては、「取り組んだことはない」が55.5%で最も高く、次いで「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」が16.5%、「たまに、取り組むことがある」が10.2%となっています。地区別にみると、全体と比較して[中央]で「取り組んだことはない」が高くなっています。年齢別にみると、全体と比較して[10・20歳代]で「取り組んだことはない」、[70歳代]で「現在、継続的に取り組んでいる」、[80歳代以上]で「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」、が高くなっています。
- 地域の活動への参加に関し気になることについては、「参加する時間がない」が33.6%で最も高く、次いで「参加するきっかけがない」が24.5%、「気になることは特に感じない」が21.9%となっています。年齢別にみると、全体と比較して10~40歳代では「参加する時間がない」が高く、60歳以上では低くなっています。
- 市民による福祉活動の課題については、「特に課題だと感じることはない、または、わからない」が41.6%で最も高く、次いで「活動に参加する人が少ない、または、固定化している」が26.8%、「活動する人の負担が大きい」が22.2%となっています。
- 福祉活動に参加する人を増やすために優先的に進めるべき取組については、「大きな負担がなく、気軽に参加できる活動を増やす」が48.8%で最も高く、次いで「参加できる活動の情報を発信する」が39.7%、「楽しくできる活動を増やす」が27.0%となっています。

## (8)障がいのある方との関わりについておたずねします。

- 身近に障がいのある方がいるかについては、「いない」が42.3%で最も高く、次いで「家族、親族にいる」が17.2%、「知らない、わからない」が9.5%となっています。
- 障がいのある方に関する話題や活動、ニュース等への関心については、「少しは関心がある」が39.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が21.7%、「大いに関心がある」が17.3%となっています。年齢別にみると、全体と比較して[10・20歳代]で「まったく関心がない」、[70歳代]で「大いに関心がある」がそれぞれ高くなっています。
- 障がいのある方に対する差別・偏見については、「ある」が55.9%で、「ない」の37.8%を上回っています。
- 障がいのある方に対する差別・偏見、または理解のなさを感じることについては、「仕事」が66.2%で最も高く、次いで「建物の構造」と「収入」が45.6%となっています。年齢別にみると、全体と比較して10～30歳代で「地域の人との接し方や態度」「お店等の店員の対応や態度」「行政職員の対応や態度」「保育所や学校の対応」といった対人的な項目、60歳以上では「建物の構造」「交通機関」といった設備や環境に関する項目がそれぞれ高くなっています。
- 障がいのある方への理解を深め、差別や偏見をなくすために必要だと思うことについては、「幼い頃からの障がいについての教育の充実」が55.5%で最も高く、次いで「障がいの特徴を知り、理解を深めるための情報共有や勉強会の充実」が39.7%、「障がいのある方とない方との交流の場の充実」が32.9%となっています。年齢別にみると、全体と比較して10～40歳代で「幼い頃からの障がいについての教育の充実」が高くなっています。

## (9)福祉に関するお考えについておたずねします。

- 福祉に関心があるかについては、「どちらともいえない」が50.3%で最も高く、次いで「関心がある」が37.9%、「関心がない」が7.8%となっています。年齢別にみると、全体と比較して10～30歳代で「関心がない」、70歳以上で「関心がある」が高くなっています。地区別にみて大きな差はありません。
- 地域の福祉を充実するために、鎌ヶ谷市はどのようなことに特に優先的に取り組むべきだと思うかについては、「高齢者・障がい者等の介護や生活支援」が41.3%で最も高く、次いで「身近な相談窓口の整備」が36.7%、「福祉に関する情報の提供」が35.5%となっています。
- どこかで福祉について話を聞いたり、学んだりしたことがあるかについては、「特に福祉について話を聞いたり、学んだりしたことはない」が44.7%で最も高くなっています。年齢別にみると、全体と比較して40歳代以下では「小学校・中学校の総合学習等の授業」が、60歳以上で「特に福祉について話を聞いたり、学んだりしたことはない」が高くなっています。また、30歳以下で「高校や大学等で福祉を学んだ」が高いほか、[70歳代]では「地域で開催された福祉の講座等」「市や社会福祉協議会、専門機関の講座等」も高くなっています。
- 鎌ヶ谷市で「地域共生社会」の考え方に基づく包括的な相談支援の仕組みを充実していくうえで、特に優先的に力をいれて取り組むべきことについては、「市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする」が29.4%で最も高く、次いで「相談しやすいように、窓口の開設時間や相談を受ける方法を改善する」が14.3%、「より身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所等の相談を充実する」が10.4%となっています。

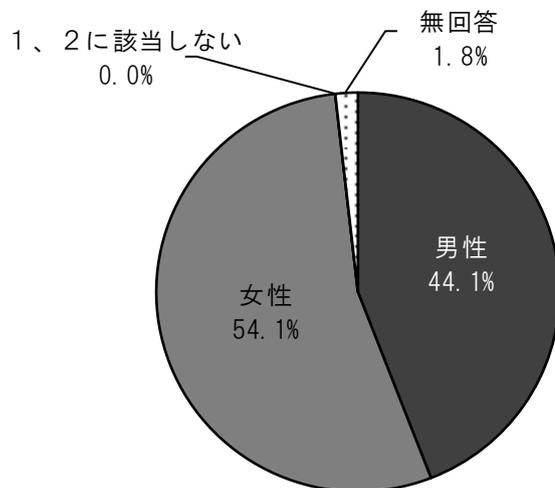
- 生活困窮者自立支援制度については、「名称も内容も知らない」が 43.3%で最も高く、次いで「名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 42.0%、「制度に基づく事業を利用したことがないが、内容は知っている」が 8.2%となっています。
- 成年後見制度について知っていることについては、「成年後見制度は、認知症や精神障がい、知的障がい等で判断能力が十分でない人が利用できる」が 41.9%で最も高く、次いで「後見人等は、財産管理やサービスの契約等の法律行為を支援する」が 31.9%、「成年後見制度自体を知らなかった」が 26.8%となっています。
- 成年後見制度を利用したいと思うかについては、「必要になれば利用したい」が 49.1%で最も高く、次いで「わからない」が 27.5%、「利用したいと思わない」が 13.0%となっています。地区別にみると、全体と比較して〔南部〕で「わからない」が高くなっています。また、〔西部〕で「必要になれば利用したい」が高くなっている一方、〔北部〕で「必要になれば利用したい」が低くなっています。年齢別にみると、40歳代以下で「必要になれば利用したい」、70歳以上で「利用したいと思わない」が高くなっています。
- 鎌ヶ谷市が成年後見制度の利用を促進するうえで、特に優先的に力を入れて取り組むべきことについては、「手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする」が 43.2%で最も高く、次いで「市民や関係者に制度を周知するよう、情報提供や広報を充実する」が 42.7%、「制度を利用するための経済的な負担を軽減する」が 27.5%となっています。
- 再犯防止の取組が進められていることについては、「知らなかった」が 56.5%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった」が 29.8%、「特に協力はしていないが、取組は知っている」が 11.0%となっています。

### 3 調査結果

(1)あなたご自身についておたずねします。

問1 あなたの性別は。(ひとつだけ○)

n=1,129



#### ○全体の傾向

性別については、「女性」が54.1%で最も高く、次いで「男性」が44.1%となっています。

#### ○属性別の特徴

##### ①地区別

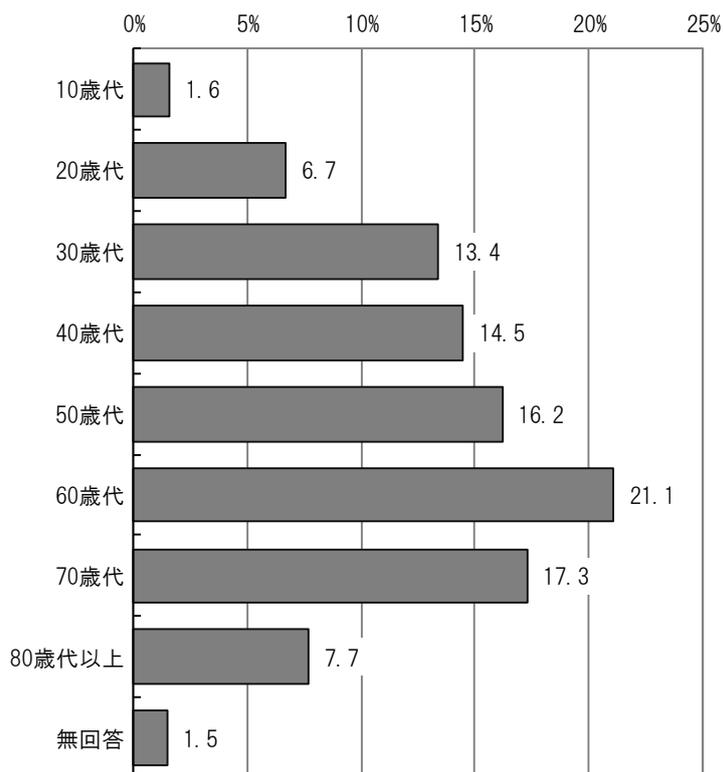
地区別にみると[中央東]で「男性」と「女性」が同率になっていますが、それ以外の地区では「女性」が「男性」を上回っています。

##### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して[10・20歳代]で「女性」が高く、[80歳代以上]では「男性」が高くなっています。

問2 あなたの年代は。(ひとつだけ○)

n=1,129



○全体の傾向

年齢については、「60歳代」が21.1%で最も高く、次いで「70歳代」が17.3%、「50歳代」が16.2%となっています。

○属性別の特徴

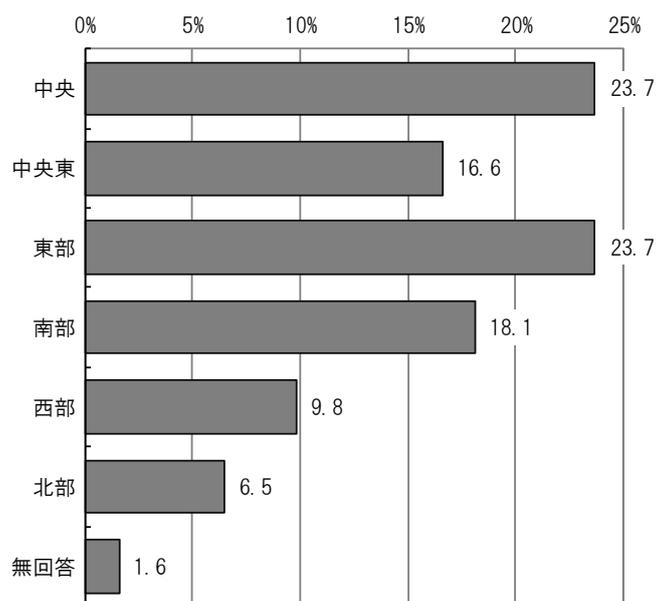
①地区別

地区別にみると [中央] [南部] [西部] で10～50歳代が60歳以上を上回り、[中央東] [東部] [北部] で60歳以上が10～50歳代を上回っています。特に [中央] は全体と比較して10～50歳代の占める割合が高くなっています。

(2)お住まいや居住の状況についておたずねします。

問3 あなたがお住まいの地域は。(ひとつだけ○)

n=1,129

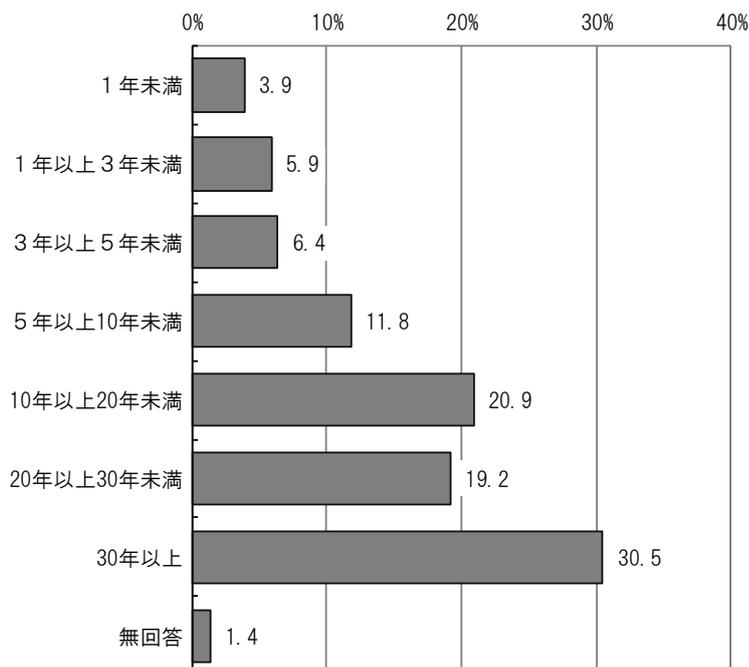


○全体の傾向

お住まいの地域については、「中央」と「東部」が23.7%で最も高く、次いで「南部」が18.1%、「中央東」が16.6%となっています。

問4 現在のお住まいでの居住年数は。(ひとつだけ○)

n=1,129



○全体の傾向

居住年数については、「30年以上」が30.5%で最も高く、次いで「10年以上20年未満」が20.9%、「20年以上30年未満」が19.2%となっています。10年以上居住している人が70.6%、10年未満の人が28.0%となっています。

○属性別の特徴

①地区別

地区別にみると、全体と比較して[中央]で「30年以上」の割合が7.7ポイント低く、[中央東]で9.6ポイント高くなっています。また、[北部]で「1年以上3年未満」が6.4ポイント高く、「3年以上5年未満」が5.0ポイント低くなっています。

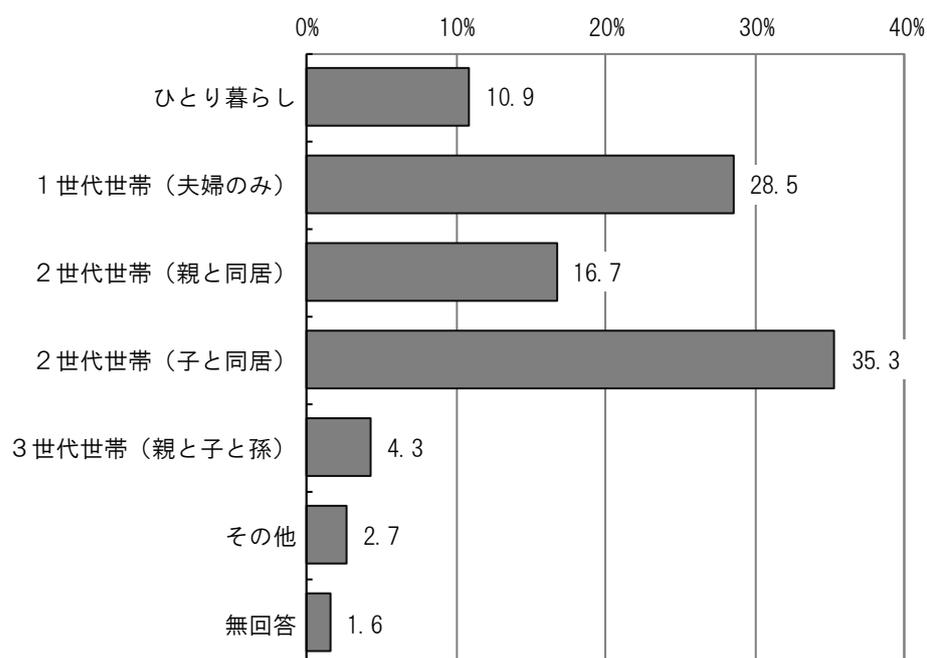
②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10ポイント以上高い項目は[10・20歳代]で「1年以上3年未満」「10年以上20年未満」、[30歳代]で「1年以上3年未満」「3年以上5年未満」、[40歳代]で「5年以上10年未満」「10年以上20年未満」、50～60歳代で「20年以上30年未満」、70歳以上で「30年以上」となっています。

全体と比較して40歳代以下では10年未満の割合が高く、50歳以上では10年以上の割合が高くなっています。

問5 同居家族の構成は（自分も含む）。（ひとつだけ○）  
 ※単身赴任等家族と別居中の人を除いてお答えください。

n=1,129



### ○全体の傾向

同居家族の構成については、「2世代世帯（子と同居）」が35.3%で最も高く、次いで「1世代世帯（夫婦のみ）」が28.5%、「2世代世帯（親と同居）」が16.7%となっています。

### ○属性別の特徴

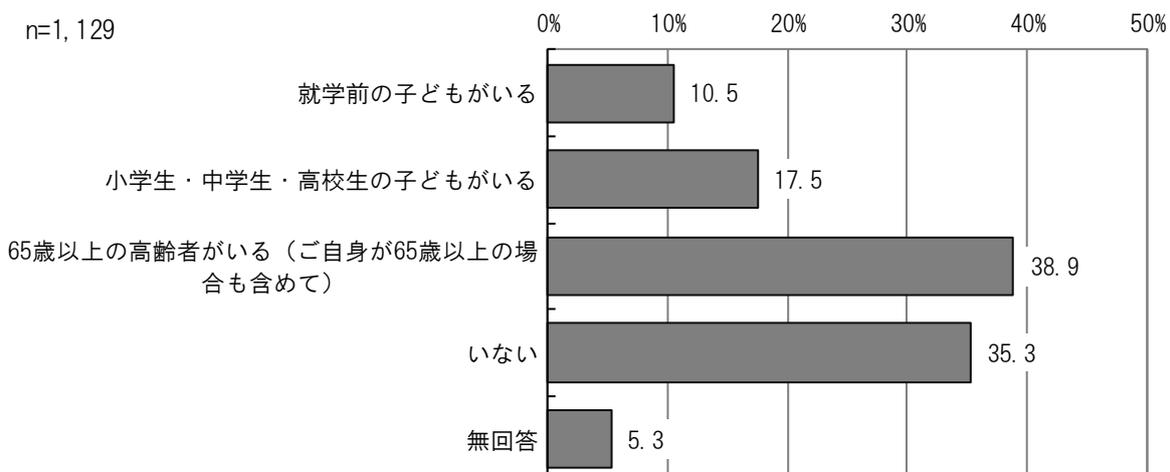
#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して〔中央東〕で「1世代世帯（夫婦のみ）」が5.2ポイント高く、〔東部〕で5.0ポイント低くなっています。また、〔南部〕では「2世代世帯（子と同居）」が5.4ポイント低く、〔西部〕で6.1ポイント高くなっています。さらに、〔北部〕では「1世代世帯（夫婦のみ）」が5.7ポイント高く「ひとり暮らし」が5.4ポイント低くなっています。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10ポイント以上高い項目は〔10・20歳代〕で「2世代世帯（親と同居）」、〔40歳代〕で「2世代世帯（子と同居）」、70歳以上で「1世代世帯（夫婦のみ）」となっています。

問6 同居されているご家族に、18歳未満の子どもや65歳以上の高齢者がいますか。(あてはまるものすべてに○)



### ○全体の傾向

同居されているご家族に、18歳未満の子どもや65歳以上の高齢者がいるかについては、「65歳以上の高齢者がいる（ご自身が65歳以上の場合も含めて）」が38.9%で最も高く、次いで「いない」が35.3%、「小学生・中学生・高校生の子どもがいる」が17.5%となっています。

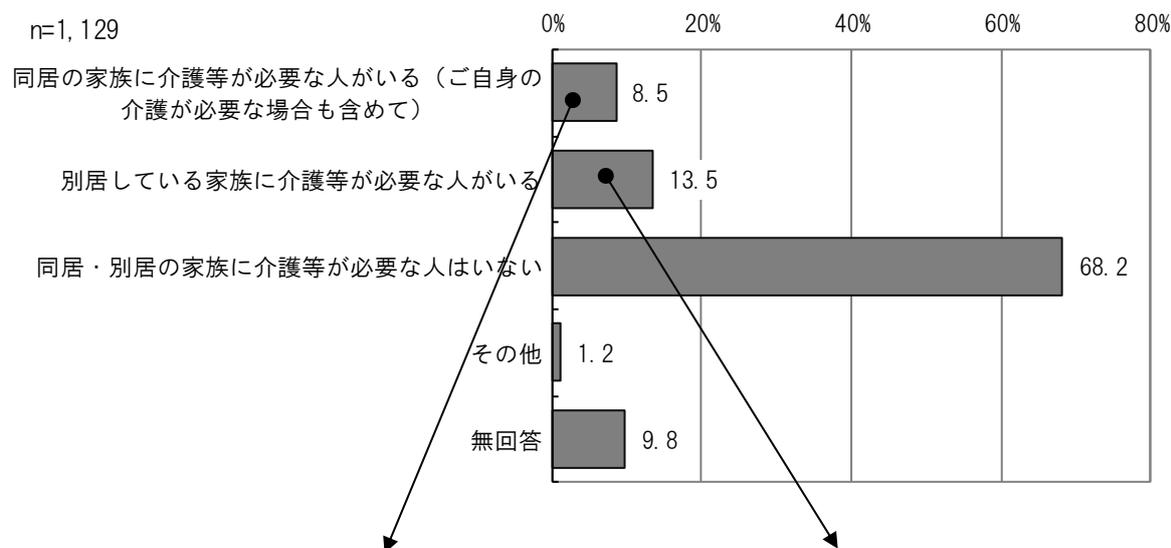
### ○属性別の特徴

#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して[中央]で「小学生・中学生・高校生の子どもがいる」が5.6ポイント、[中央東]で「65歳以上の高齢者がいる（ご自身が65歳以上の場合も含めて）」が10.3ポイント、[西部]で「いない」が5.2ポイント、[北部]で「いない」が8.5ポイント高くなっています。

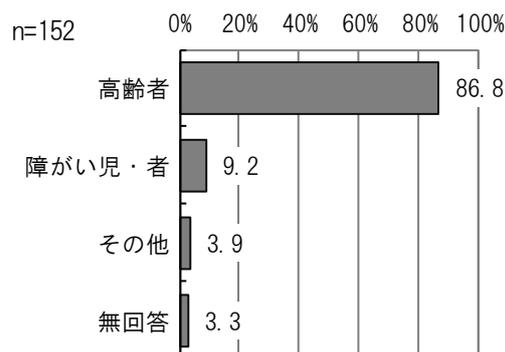
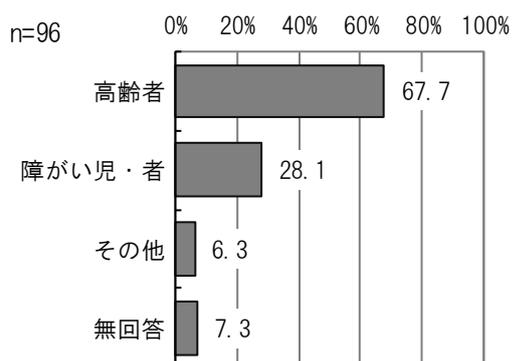
### (3)ご自身の生活の状況についておたずねします。

問7 同居・別居のご家族に、介護が必要な方がいますか。(あてはまるものすべてに○)



同居の家族のうち、介護等が必要な人

別居の家族のうち、介護等が必要な人



#### ○全体の傾向

同居・別居のご家族に、介護が必要な方がいるかについては、「同居・別居の家族に介護等が必要な人はいない」が68.2%で最も高く、次いで「別居している家族に介護等が必要な人がいる」が13.5%、「同居の家族に介護等が必要な人がいる (ご自身の介護が必要な場合も含めて)」が8.5%となっています。

同居の家族のうち、介護等が必要な人については、「高齢者」が67.7%で最も高く、次いで「障がい児・者」が28.1%、「その他」が6.3%となっています。

別居の家族のうち、介護等が必要な人については、「高齢者」が86.8%で最も高く、次いで「障がい児・者」が9.2%、「その他」が3.9%となっています。

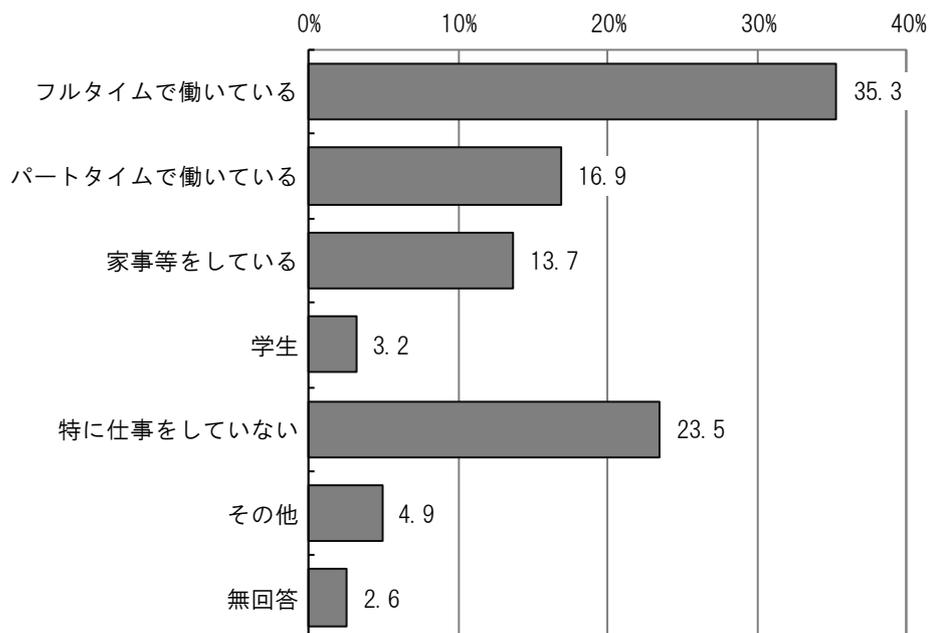
#### ○属性別の特徴

##### ①地区別

介護が必要な方の有無については、地区別にみても傾向に大きな差はありません。

問8 あなたは仕事に就いていますか。(ひとつだけ○)

n=1,129



○全体の傾向

就業状況については、「フルタイムで働いている」が35.3%で最も高く、次いで「特に仕事をしていない」が23.5%、「パートタイムで働いている」が16.9%となっています。

○属性別の特徴

①地区別

地区別にみると、全体と比較して [中央] で「フルタイムで働いている」が5.4ポイント、[南部] で「特に仕事をしていない」が5.9ポイント高く、[北部] で「フルタイムで働いている」が5.2ポイント低くなっています。

②性別

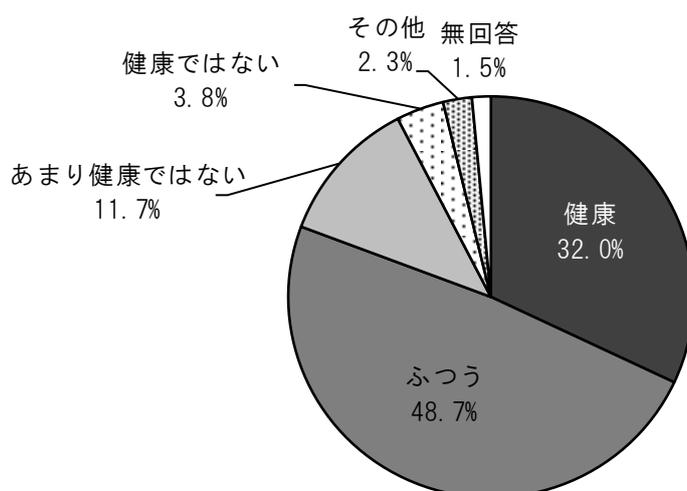
性別にみると、全体と比較して [男性] で「フルタイムで働いている」が14.9ポイント高く、[女性] で「パートタイムで働いている」が7.3ポイント、「家事等をしている」が10.0ポイント高くなっています。

③年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10ポイント以上高い項目は、10～50歳代で「フルタイムで働いている」、[10・20歳代] で「学生」、[40歳代] で「パートタイムで働いている」、[70歳代] で「家事等をしている」、70歳以上で「特に仕事をしていない」となっています。

問9 あなたの健康状態はいかがですか。(ひとつだけ○)

n=1,129



○全体の傾向

健康状態については、「ふつう」が48.7%で最も高く、次いで「健康」が32.0%、「あまり健康ではない」が11.7%となっています。

○属性別の特徴

①地区別

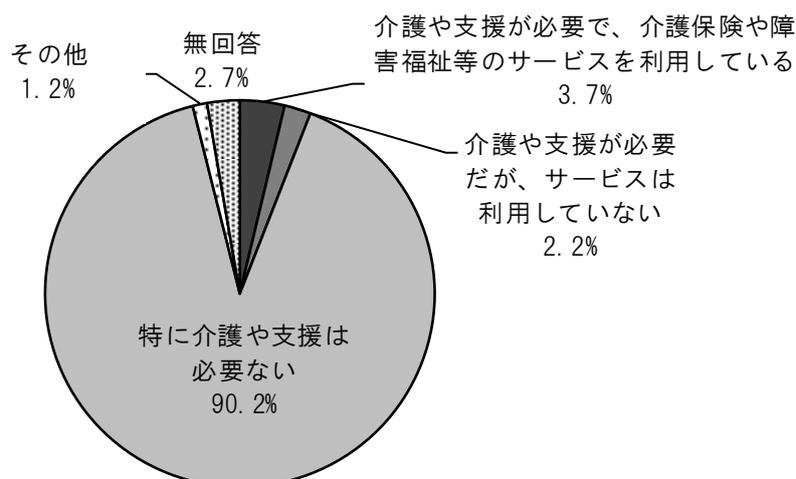
地区別にみると、全体と比較して[西部]で「健康」が6.7ポイント高く、「あまり健康ではない」が5.4ポイント低くなっています。また、[北部]で「ふつう」が6.1ポイント高くなっています。

②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10～30歳代で「健康」が10ポイント以上高くなっています。また、[80歳代以上]で「あまり健康ではない」が13.6ポイント、「健康ではない」が7.7ポイント高くなっています。

問 10 あなたは、日常の生活で介護や支援が必要ですか。(ひとつだけ○)

n=1,129



○全体の傾向

日常の生活で介護や支援の必要性については、「特に介護や支援は必要ない」が90.2%で最も高く、次いで「介護や支援が必要で、介護保険や障害福祉等のサービスを利用している」が3.7%、「介護や支援が必要だが、サービスは利用していない」が2.2%となっています。

○属性別の特徴

①地区別

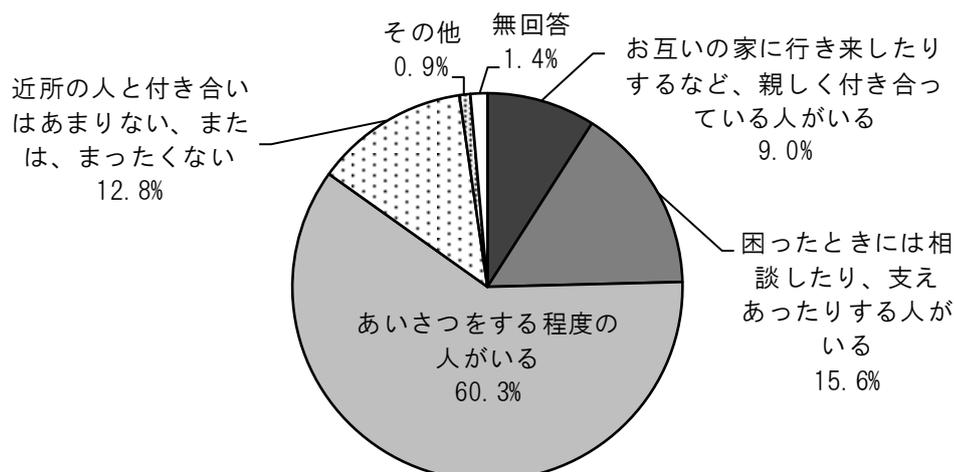
地区別にみると、全体と比較して[北部]で「特に介護や支援は必要ない」が5.7ポイント高くなっています。

②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して[10・20歳代]で「特に介護や支援は必要ない」が5.5ポイント、[80歳代以上]で「介護や支援が必要で、介護保険や障害福祉等のサービスを利用している」が13.5ポイント高くなっています。

問 11 あなたは、ふだん近所の人とどの程度のお付き合いがありますか。(ひとつだけ○)

n=1,129



○全体の傾向

近所の人とのお付き合いの程度については、「あいさつをする程度の人がある」が60.3%で最も高く、次いで「困ったときには相談したり、支えあったりする人がいる」が15.6%、「近所の人と付き合いはあまりない、または、まったくない」が12.8%となっています。

○属性別の特徴

①地区別

地区別にみると、全体と比較して[西部]で「お互いの家に行き来したりするなど、親しく付き合っている人がいる」が6.3ポイント高くなっています。また、[北部]で「近所の人と付き合いはあまりない、または、まったくない」が6.0ポイント低くなっています。

②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して[10・20歳代]で「近所の人と付き合いはあまりない、または、まったくない」が14.9ポイント、[30歳代]で「あいさつをする程度の人がある」が5.3ポイント、70歳以上で「お互いの家に行き来したりするなど、親しく付き合っている人がいる」が5ポイント以上それぞれ高くなっています。

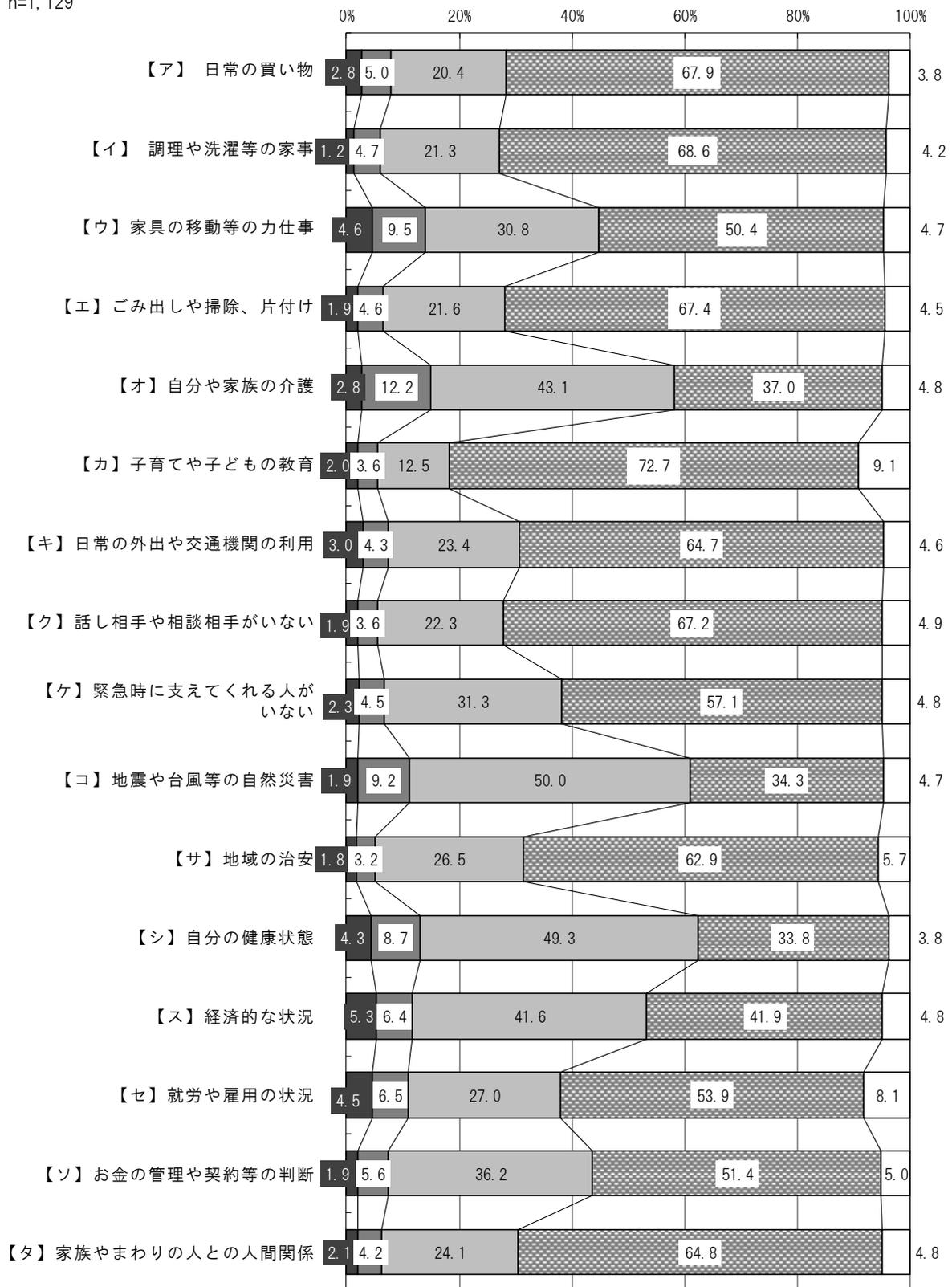
③居住年数別

居住年数別にみると、全体と比較して3年未満で「近所の人と付き合いはあまりない、または、まったくない」が20ポイント以上、[30年以上]で「お互いの家に行き来したりするなど、親しく付き合っている人がいる」が5.0ポイント高くなっています。

(4) 日ごろの悩みや相談の状況についておたずねします。

問 12 あなたは日常生活に関する以下のことで、困ったり不安に感じたりしていることがありますか。(【ア】から【タ】のそれぞれについて、ひとつだけ○)

n=1,129



■現在、困っている ■今後5年ぐらいの間に困るかもしれない ■将来は不安がある ■特に困ったり不安は感じていない □無回答

## ○全体の傾向

日常生活に関して、困ったり不安に感じたりしていることについては、【オ】自分や家族の介護・【コ】地震や台風等の自然災害・【シ】自分の健康状態・【ス】経済的な状況では「現在、困っている」「今後5年ぐらいの間に困るかもしれない」「将来は不安がある」を合わせた『困ったり不安に感じたりしている』が「特に困ったり不安は感じていない」を上回っています。【コ】地震や台風等の自然災害については5割が「将来は不安がある」としています。

## ○属性別の特徴

### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して〔中央東〕で【キ】日常の外出や交通機関の利用、〔南部〕で【エ】ごみ出しや掃除、片付け、〔北部〕で【ア】日常の買い物・【ウ】家具の移動等の力仕事・【エ】ごみ出しや掃除、片付け・【キ】日常の外出や交通機関の利用・【ク】話し相手や相談相手がいない・【ケ】緊急時に支えてくれる人がいない について「将来は不安がある」割合が5ポイント以上高くなっています。また、〔北部〕で【セ】就労や雇用の状況 について「今後5年ぐらいの間に困るかもしれない」が7.2ポイント高くなっています。

### ②年齢別

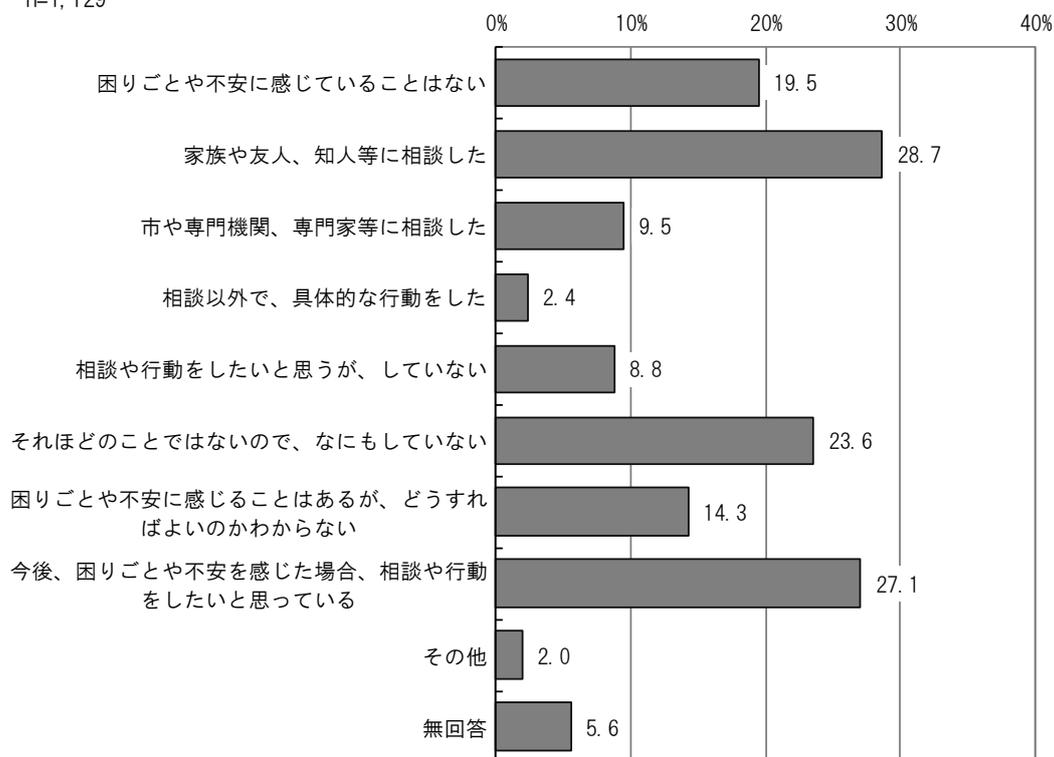
年齢別にみると、全体と比較して〔10・20歳代〕で【カ】子育てや子どもの教育、〔30歳代〕で【カ】子育てや子どもの教育、〔40歳代〕で【コ】地震や台風等の自然災害・【サ】地域の治安・【シ】自分の健康状態・【ス】経済的な状況・【セ】就労や雇用の状況、〔50歳代〕で【ウ】家具の移動等の力仕事・【シ】自分の健康状態・【ス】経済的な状況・【セ】就労や雇用の状況・【ソ】お金の管理や契約等の判断・【タ】家族やまわりの人との人間関係 において「将来は不安がある」割合が10ポイント以上高くなっています。

また、〔80歳代以上〕において、【ウ】家具の移動等の力仕事に「現在、困っている」割合、【ア】日常の買い物・【イ】調理や洗濯等の家事・【ウ】家具の移動等の力仕事・【エ】ごみ出しや掃除、片付け・【キ】日常の外出や交通機関の利用・【ケ】緊急時に支えてくれる人がいない・【シ】自分の健康状態 に「今後5年ぐらいの間に困るかもしれない」割合が10ポイント以上高くなっています。

問 13 問 12 でお聞きしたような日常生活の困りごとや不安を解決していくため、あなたがしていること（したこと）がありますか。（あてはまるものすべてに○）

※ 一部の困りごとや不安に対してしている（したこと）もあげてください。

n=1,129



### ○全体の傾向

日常生活の困りごとや不安を解決していくためにしていること（したこと）については、「家族や友人、知人等に相談した」が28.7%で最も高く、次いで「今後、困りごとや不安を感じた場合、相談や行動をしたいと思っている」が27.1%、「それほどのことではないので、なにもしていない」が23.6%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

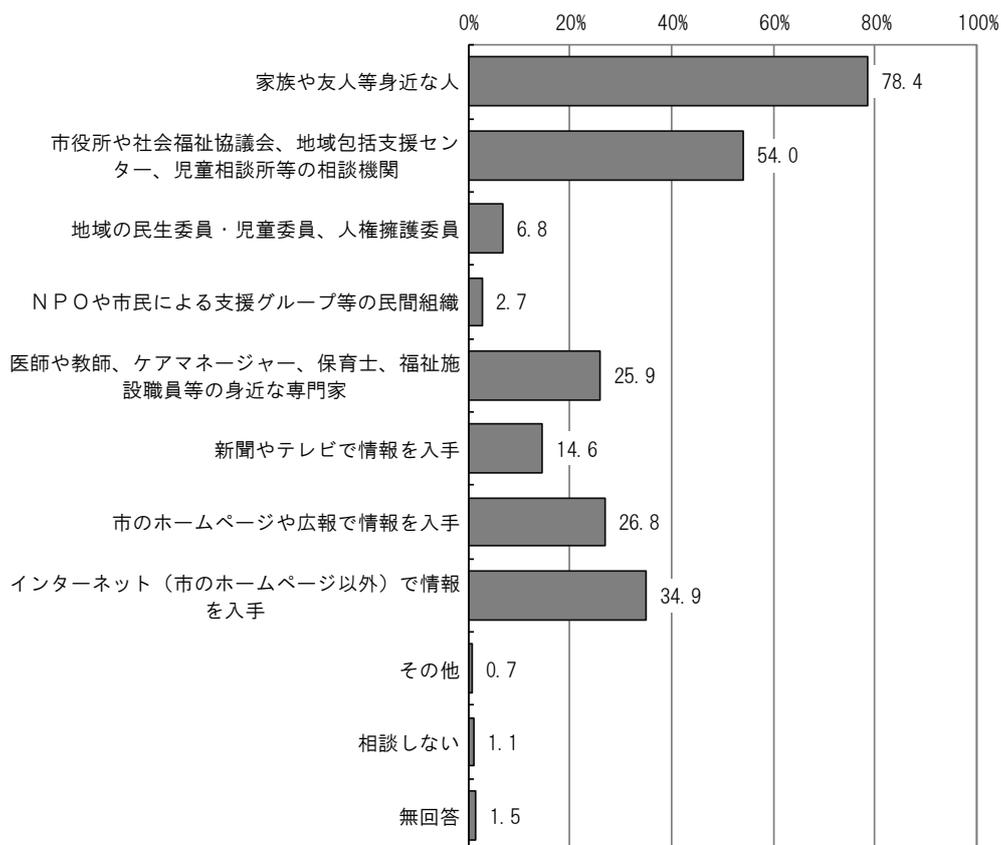
地区別にみると、全体と比較して〔中央東〕で「今後、困りごとや不安を感じた場合、相談や行動をしたいと思っている」が7.3ポイント低くなっています。〔北部〕では「家族や友人、知人等に相談した」が8.3ポイント高く、「困りごとや不安に感じていることはない」が5.8ポイント低くなっています。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して〔10・20歳代〕で「困りごとや不安に感じていることはない」「家族や友人、知人等に相談した」、〔70歳代〕で「今後、困りごとや不安を感じた場合、相談や行動をしたいと思っている」が10ポイント以上高くなっています。

問 14 あなたは、あなた自身や家族に福祉に関する困りごとが起きた場合、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

n=1,129



### ○全体の傾向

福祉に関する困りごとが起きた場合の相談相手については、「家族や友人等身近な人」が78.4%で最も高く、次いで「市役所や社会福祉協議会、地域包括支援センター、児童相談所等の相談機関」が54.0%、「インターネット（市のホームページ以外）で情報を入手」が34.9%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

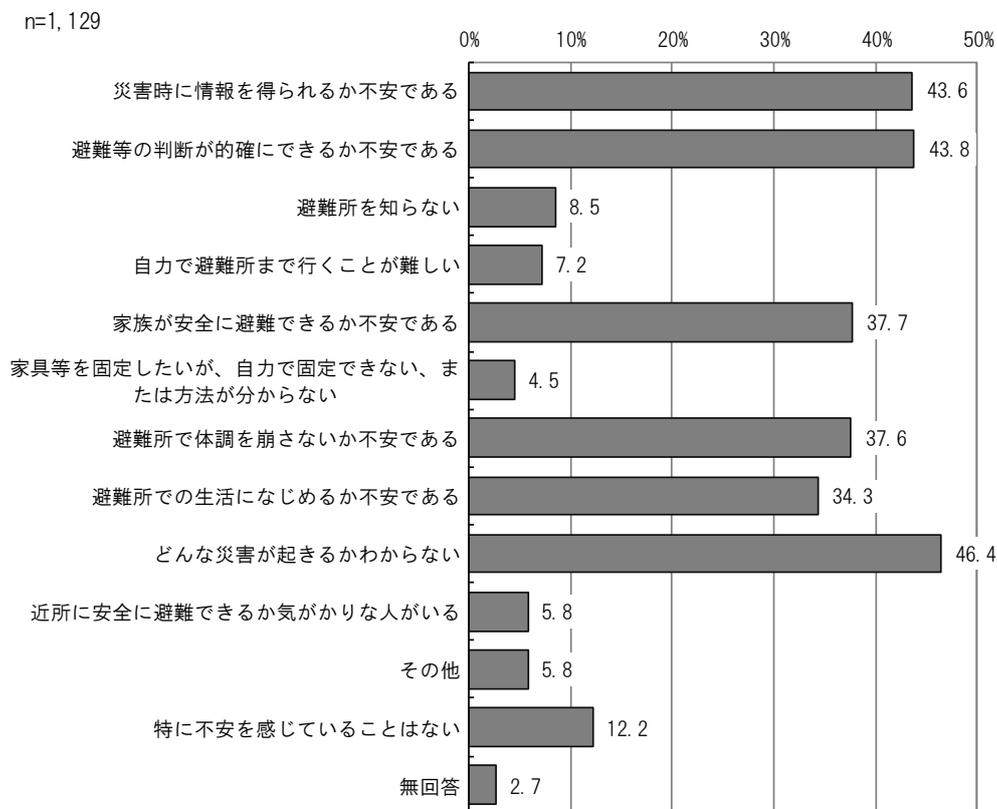
地区別にみると、全体と比較して〔西部〕で「家族や友人等身近な人」が5.4ポイント、「医師や教師、ケアマネージャー、保育士、福祉施設職員等の身近な専門家」が6.5ポイント高く、〔中央東〕で「医師や教師、ケアマネージャー、保育士、福祉施設職員等の身近な専門家」が7.7ポイント、「新聞やテレビで情報を入手」が5.5ポイント低くなっています。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して〔10・20歳代〕で「家族や友人等身近な人」が12.0ポイント高いほか、10～50歳代で「インターネット（市のホームページ以外）で情報を入手」が10ポイント以上高くなっています。

(5)災害時の対応についておたずねします。

問 15 あなたは、地震や台風等の災害時の避難に関して、不安を感じていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)



○全体の傾向

地震や台風等の災害時の避難に関して、不安を感じていることについては、「どんな災害が起きるか分からない」が46.4%で最も高く、次いで「避難等の判断が的確にできるか不安である」が43.8%、「災害時に情報を得られるか不安である」が43.6%となっています。

○属性別の特徴

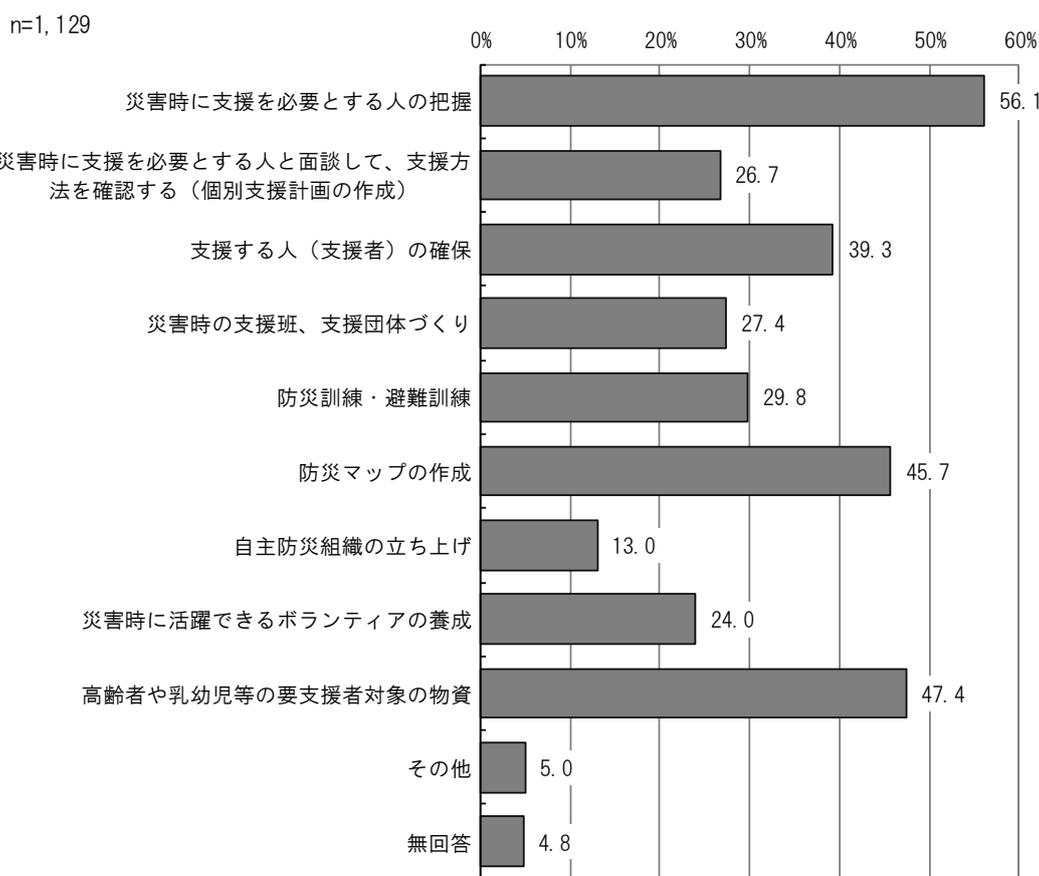
①地区別

地区別にみると、全体と比較して、[中央]で「災害時に情報を得られるか不安である」が6.8ポイント、[東部]で「避難所での生活になじめるか不安である」が5.6ポイント、[南部]で「避難等の判断が的確にできるか不安である」が9.1ポイント、「どんな災害が起きるか分からない」が8.0ポイント、それぞれ高くなっています。

②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10ポイント以上高い項目は[10・20歳代]と[50歳代]で「災害時に情報を得られるか不安である」、30～40歳代で「家族が安全に避難できるか不安である」となっています。また、[80歳代以上]で「自力で避難所まで行くことが難しい」が20.4ポイント高くなっています。

問 16 あなたは、災害時の対策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



### ○全体の傾向

災害時の対策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思うかについては、「災害時に支援を必要とする人の把握」が56.1%で最も高く、次いで「高齢者や乳幼児等の要支援者対象の物資」が47.4%、「防災マップの作成」が45.7%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して〔西部〕で「災害時に支援を必要とする人の把握」が7.0ポイント、「高齢者や乳幼児等の要支援者対象の物資」が5.8ポイント高くなっています。

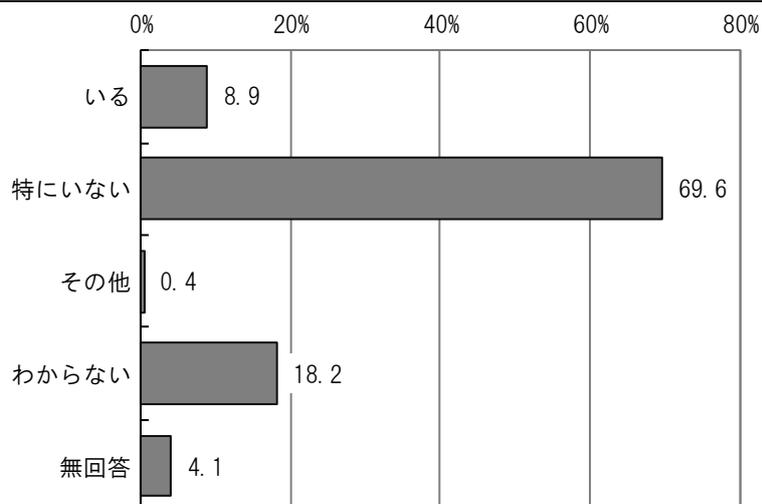
#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して、〔30歳代〕で「防災訓練・避難訓練」が7.3ポイント、「防災マップの作成」が6.0ポイント、「高齢者や乳幼児等の要支援者対象の物資」が12.2ポイント、〔60歳代〕で「災害時の支援班、支援団体づくり」が5.0ポイント、それぞれ高くなっています。

(6)「地域」との関わりについておたずねします。

問 17 あなたは、家族や親族以外で、地域で気がかりな人がいますか。(あてはまるものすべてに○)

n=1,129



○全体の傾向

家族や親族以外で、地域で気がかりな人がいるかについては、「特にいない」が69.6%で最も高く、次いで「わからない」が18.2%、「いる」が8.9%となっています。

○属性別の特徴

①地区別

地区別にみると、全体と比較して [北部] で「わからない」が6.5ポイント高く、「特にいない」が5.2ポイント低くなっています。

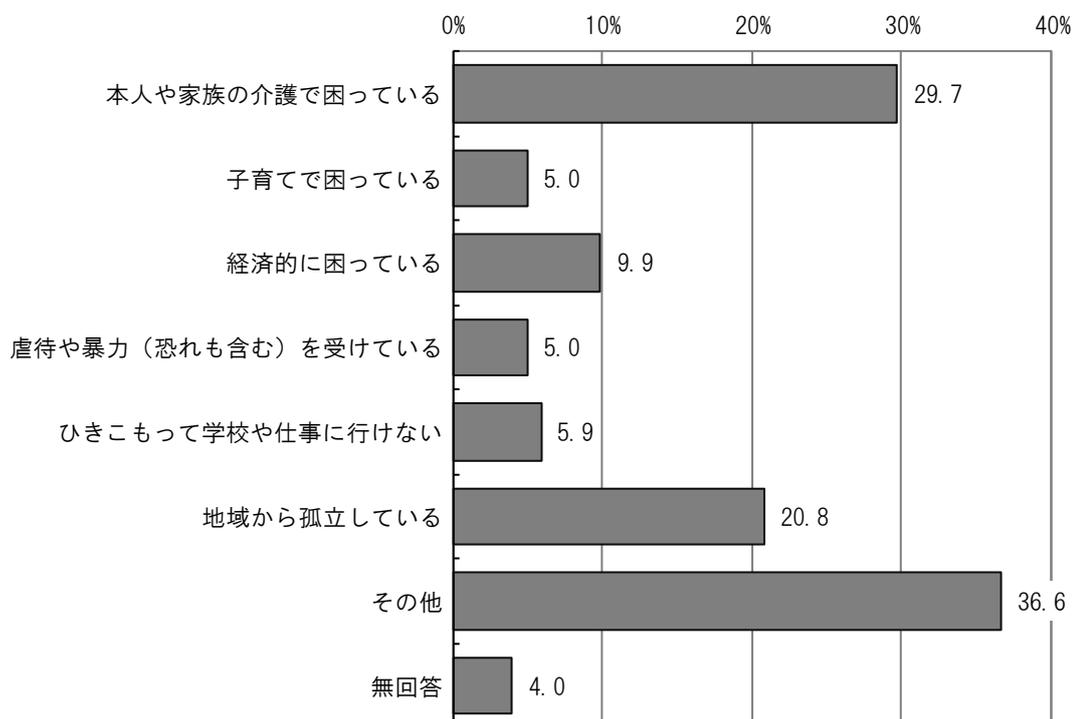
②居住年数別

居住年数別にみると、全体と比較して [1年未満] で「いる」が6.6ポイント低くなっています。また、[3年以上5年未満] と [5年以上10年未満] で「特にいない」が5ポイント以上高くなっています。

問 17 で「1 いる」を選んだ人におたずねします。

問 18 気がかりなのは、どのような方ですか。(あてはまるものすべてに○)

n=101



#### ○全体の傾向

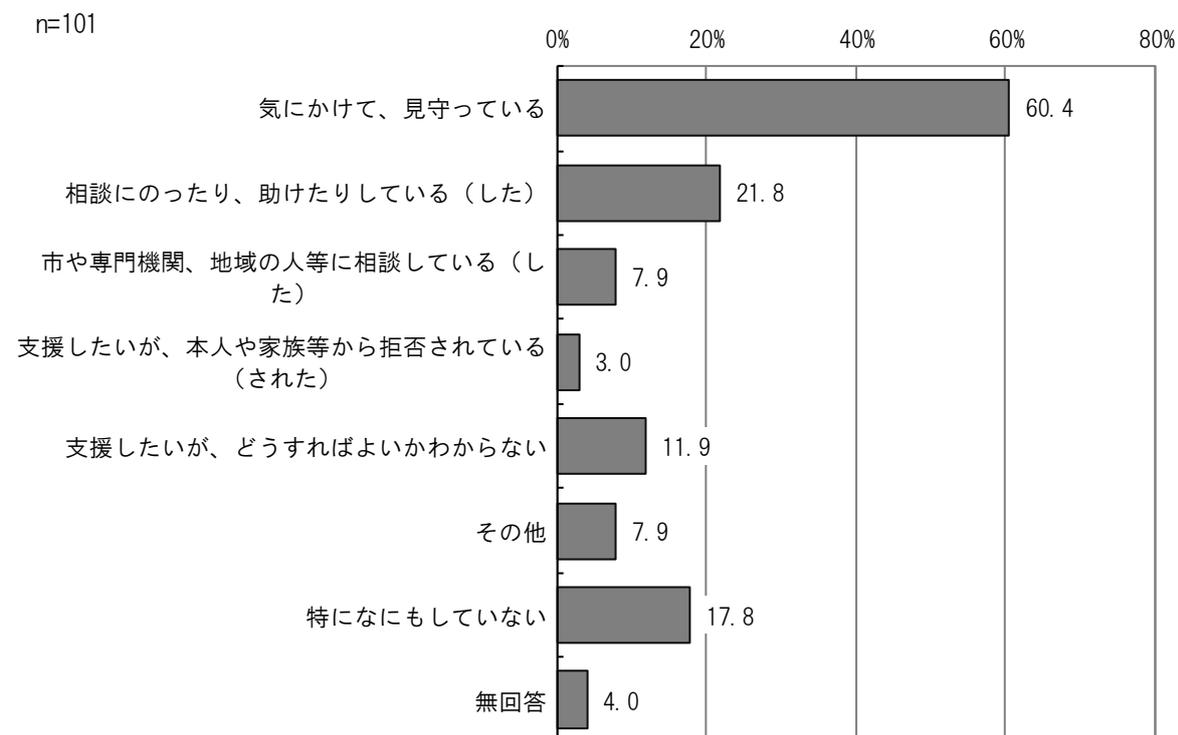
気がかりな方については、「その他」が 36.6%で最も高く、次いで「本人や家族の介護で困っている」が 29.7%、「地域から孤立している」が 20.8%となっています。

#### ○属性別の特徴

##### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して 10 ポイント以上高い項目は、[中央東]で「その他」、[南部]と[西部]で「経済的に困っている」、[北部]で「子育てで困っている」「虐待や暴力(恐れも含む)を受けている」「ひきこもって学校や仕事に行けない」「地域から孤立している」となっています。

問 17 で「1 いる」を選んだ人におたずねします。  
 問 19 その人に対して、あなたはなにかをしていますか（しましたか）。（あてはまるものすべてに○）



### ○全体の傾向

気がかりな人に対して、なにかをしているかについては、「気にかけて、見守っている」が60.4%で最も高く、次いで「相談にのったり、助けたりしている（した）」が21.8%、「特になにもしていない」が17.8%となっています。

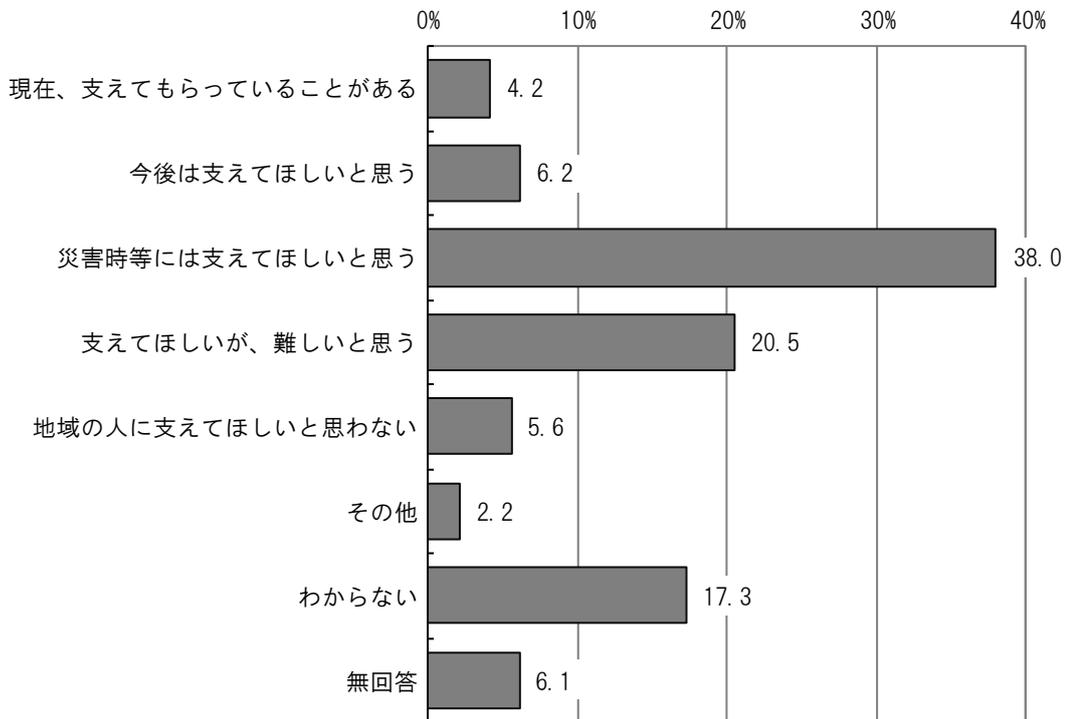
### ○属性別の特徴

#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して10ポイント以上高い項目は〔中央東〕で「特になにもしていない」、〔東部〕で「気にかけて、見守っている」「相談にのったり、助けたりしている（した）」、〔南部〕で「特になにもしていない」、〔西部〕で「気にかけて、見守っている」「相談にのったり、助けたりしている（した）」、「市や専門機関、地域の人等に相談している（した）」、〔北部〕で「支援したいが、どうすればよいかわからない」となっています。

問 20 日常生活の困りごとや不安を解決するひとつの方法として、地域の人に相談する、身の周りのことを手伝ってもらうなど地域の人にも支えてもらうことについて、あなたはどのように思いますか。(ひとつだけ○)

n=1,129



### ○全体の傾向

地域の人にも支えてもらうことについてどう思うかについては、「災害時等には支えてほしいと思う」が38.0%で最も高く、次いで「支えてほしいが、難しいと思う」が20.5%、「わからない」が17.3%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して[北部]で「わからない」が7.4ポイント高く、「災害時等には支えてほしいと思う」が9.2ポイント低くなっています。

#### ②年齢別

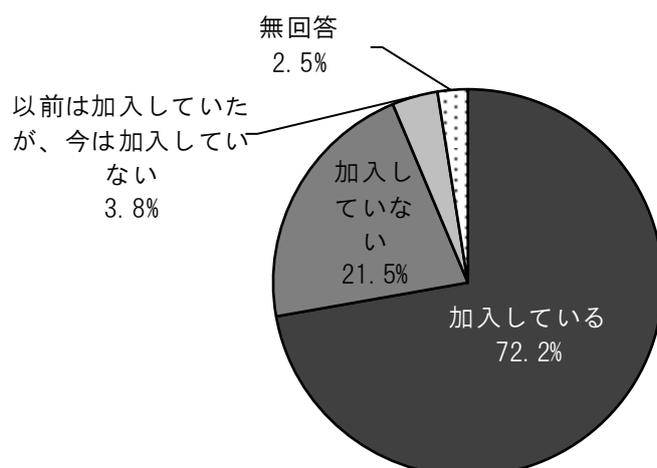
年齢別にみると、全体と比較して[10・20歳代]で「災害時等には支えてほしいと思う」が10.9ポイント、[70歳代]で「支えてほしいが、難しいと思う」が5.7ポイント高くなっています。

#### ③居住年数別

居住年数別にみると、全体と比較して5ポイント以上高い項目は、[1年未満]と[3年以上5年未満]で「災害時等には支えてほしいと思う」、[1年以上3年未満]で「地域の人に支えてほしいと思わない」、[5年以上10年未満]で「支えてほしいが、難しいと思う」、[20年以上30年未満]で「わからない」となっています。

問 21 あなたの家は自治会に加入していますか。(ひとつだけ○)

n=1,129



○全体の傾向

自治会に加入しているかについては、「加入している」が72.2%で最も高く、次いで「加入していない」が21.5%、「以前は加入していたが、今は加入していない」が3.8%となっています。

○属性別の特徴

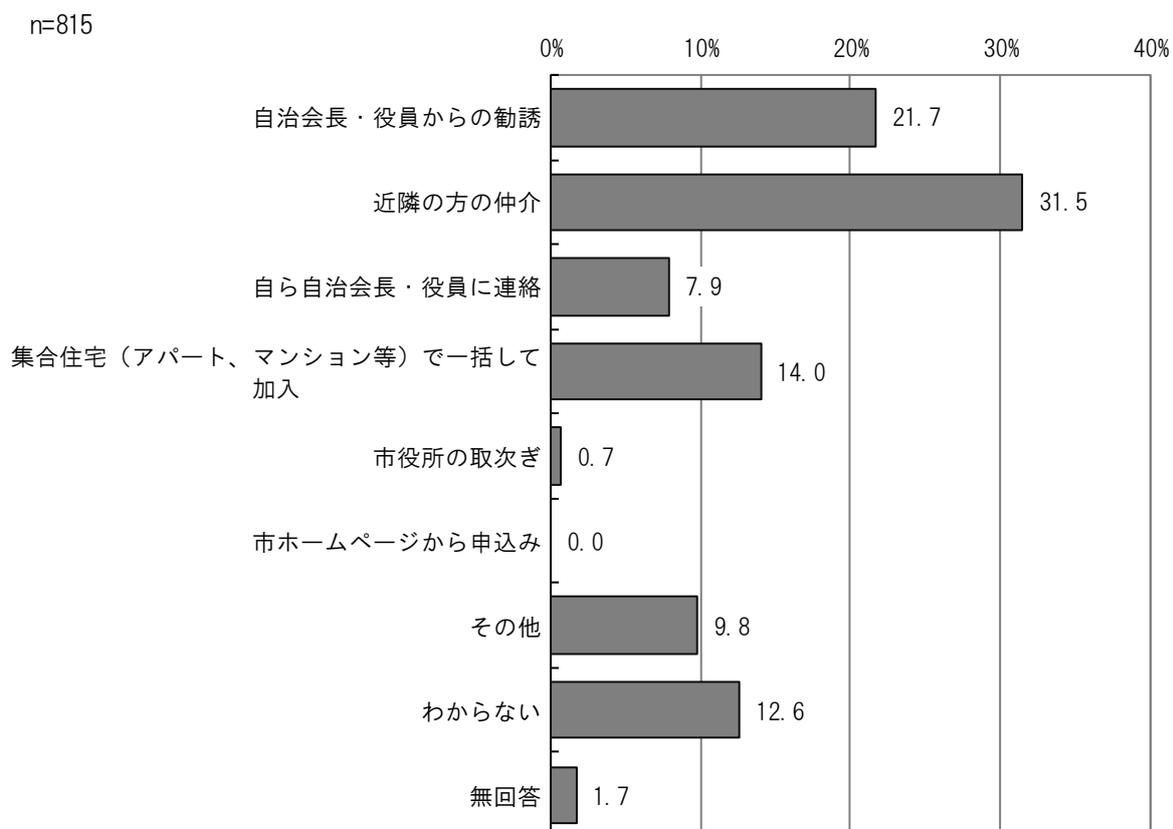
①地区別

地区別にみると、全体と比較して[中央]で「加入していない」が8.7ポイント高くなっています。また、[東部]と[北部]で「加入している」が5ポイント以上高くなっています。

②居住年数別

居住年数別にみると、全体と比較して、20年以上で「加入している」、[1年未満][1年以上3年未満][5年以上10年未満]で「加入していない」が高くなっています。また、3年未満では「加入していない」が「加入している」を上回っています。

問 21 で「1 加入している」を選んだ人におたずねします。  
 問 22 あなたは、どのような方法で自治会に加入しましたか。(ひとつだけ○)



### ○全体の傾向

どのような方法で自治会に加入したかについては、「近隣の方の仲介」が31.5%で最も高く、次いで「自治会長・役員からの勧誘」が21.7%、「集合住宅（アパート、マンション等）で一括して加入」が14.0%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して[中央東]で「集合住宅（アパート、マンション等）で一括して加入」が7.5ポイント低くなっています。また[南部]で「集合住宅（アパート、マンション等）で一括して加入」が8.5ポイント高く、「わからない」が7.7ポイント低くなっています。[北部]では「わからない」が6.0ポイント高くなっています。

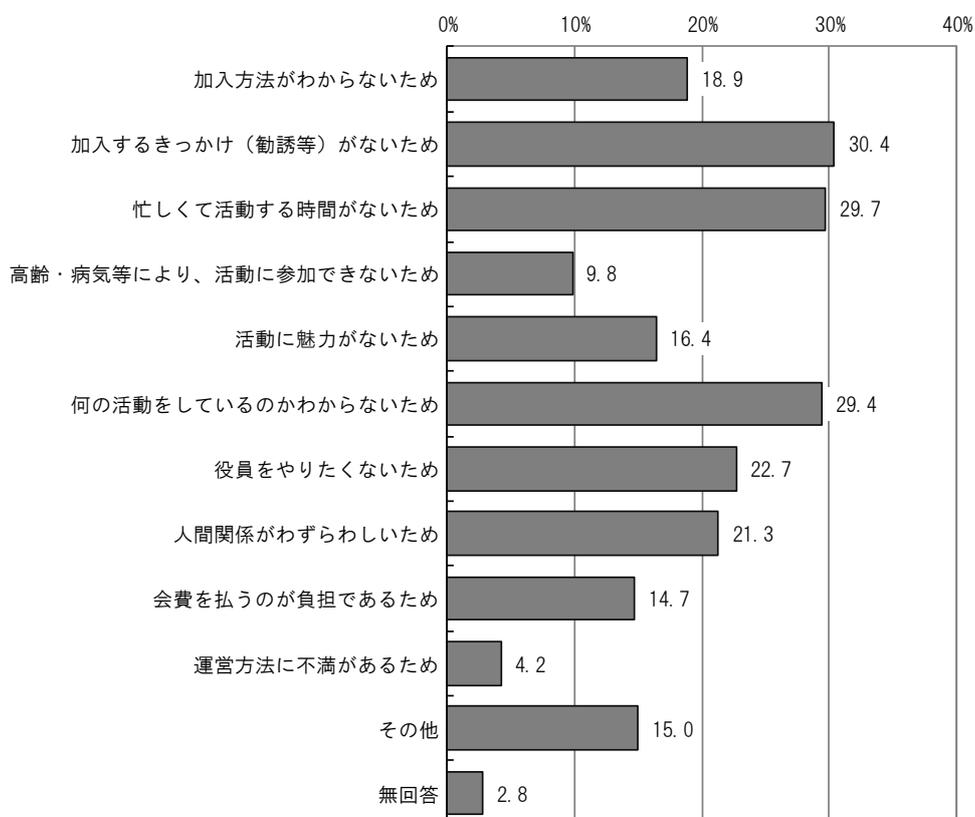
#### ②居住年数別

居住年数別にみると、全体と比較して5年未満では「集合住宅（アパート、マンション等）で一括して加入」が15ポイント以上高く、[5年以上10年未満]では「自治会長・役員からの勧誘」「近隣の方の仲介」が5ポイント以上高くなっています。

問 21 で「2 加入していない」「3 以前は加入していたが、今は加入していない」を選んだ人におたずねします。

問 23 あなたの家が自治会に加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

n=286



## ○全体の傾向

自治会に加入していない理由については、「加入するきっかけ（勧誘等）がないため」が30.4%で最も高く、次いで「忙しくて活動する時間がないため」が29.7%、「何の活動をしているのかわからないため」が29.4%となっています。

## ○属性別の特徴

### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して5ポイント以上高い項目は〔中央〕で「何の活動をしているのかわからないため」「その他」、〔中央東〕で「忙しくて活動する時間がないため」「活動に魅力がないため」、〔東部〕で「加入方法がわからないため」、〔西部〕で「加入方法がわからないため」「加入するきっかけ（勧誘等）がないため」「高齢・病気等により、活動に参加できないため」「何の活動をしているのかわからないため」「役員をやりたくないため」、〔北部〕で「活動に魅力がないため」「その他」となっています。

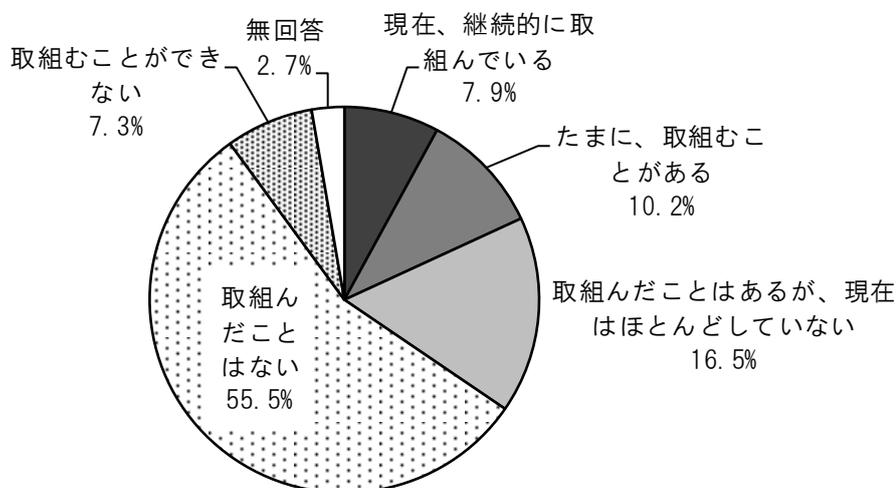
### ②居住年数別

居住年数別にみると、全体と比較して5年未満で「加入方法がわからないため」「加入するきっかけ（勧誘等）がないため」「何の活動をしているのかわからないため」が5ポイント以上高くなっています。20年以上では「高齢・病気等により、活動に参加できないため」「活動に魅力がないため」が5ポイント以上高くなっています。

(7)地域活動、福祉活動の状況についておたずねします。

問 24 あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取組んでいますか。(ひとつだけ○)

n=1,129



○全体の傾向

地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等に取組んでいるかについては、「取組んだことはない」が55.5%で最も高く、次いで「取組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」が16.5%、「たまに、取組むことがある」が10.2%となっています。

○属性別の特徴

①地区別

地区別にみると、全体と比較して[中央]で「取組んだことはない」が6.4ポイント高くなっています。

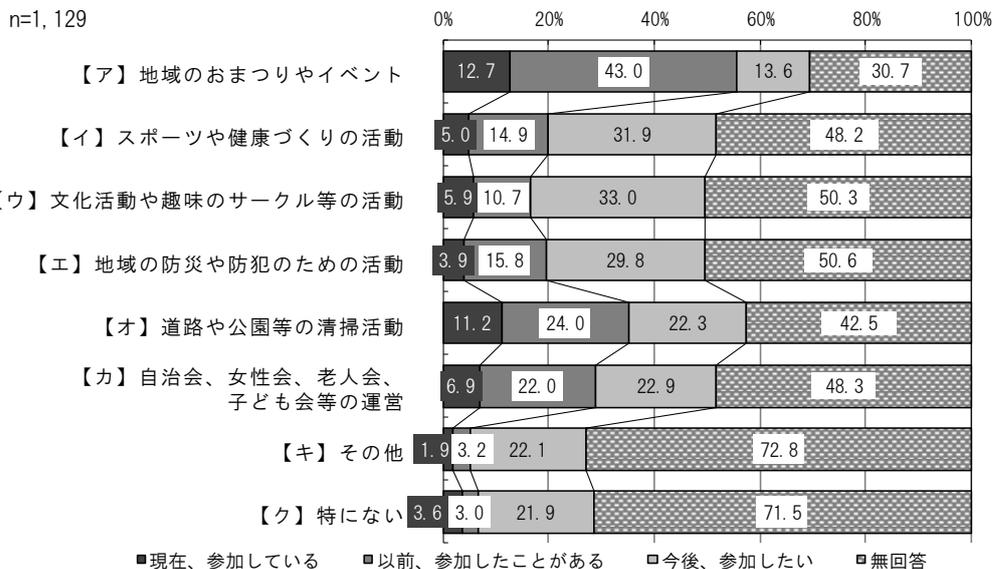
②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10ポイント以上高い項目は、[10・20歳代]で「取組んだことはない」、[80歳代以上]で「取組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」となっています。また、[70歳代]で「現在、継続的に取組んでいる」が9.5ポイント高くなっています。

③居住年数別

居住年数別にみると、全体と比較して[30年以上]で「取組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」が6.5ポイント、5年未満で「取組んだことはない」が10ポイント以上高くなっています。

問 25 あなたは、お住まいの地域の次のどのような活動に参加したことがありますか。また、現在は参加してなくて、今後参加したいと思うものがありますか。（【ア】から【ク】のそれぞれについて、ひとつだけ○）



### ○全体の傾向

地域の活動への参加状況については、【ア】地域のおまつりやイベント・【オ】道路や公園等の清掃活動については「現在、参加している」が1割台、それ以外の活動については1割以下となっています。【ア】地域のおまつりやイベントについては「現在、参加している」「以前、参加したことがある」の合計が5割以上となっています。

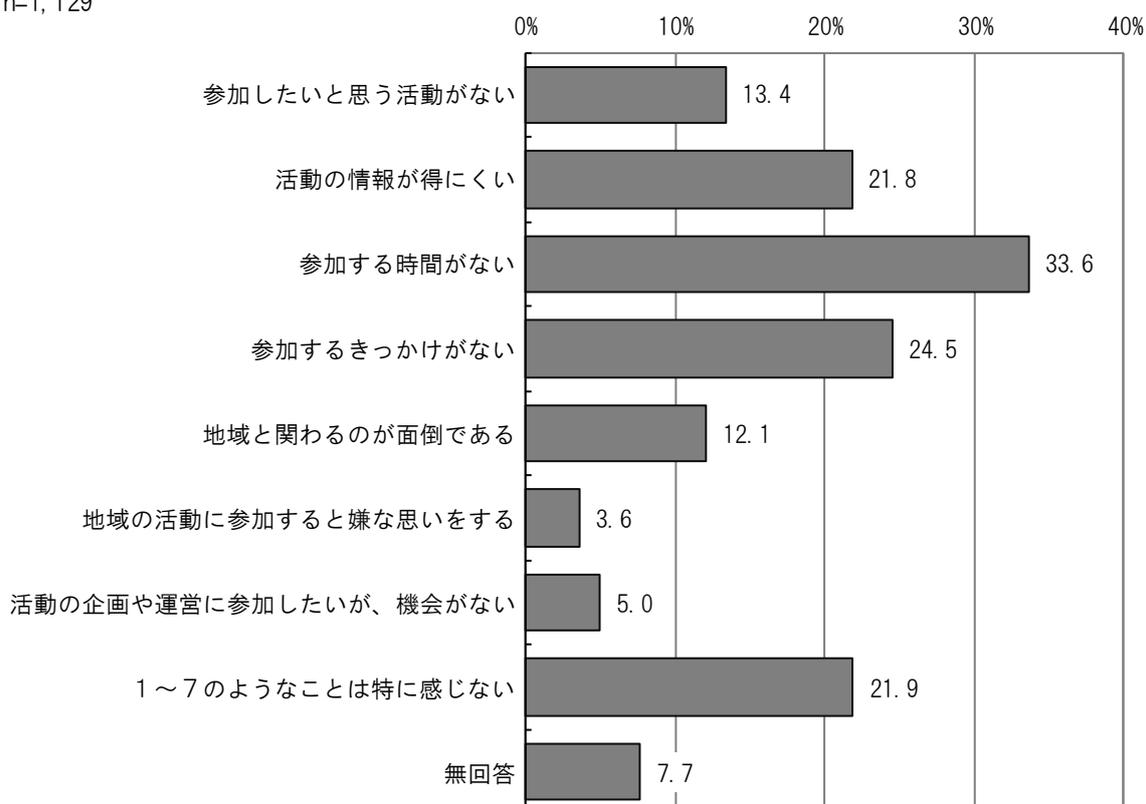
### ○属性別の特徴

#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して〔中央〕で【ア】地域のおまつりやイベント・【イ】スポーツや健康づくりの活動について「今後、参加したい」割合が5ポイント以上高くなっています。また、〔西部〕で【ア】地域のおまつりやイベント・【エ】地域の防災や防犯のための活動・【オ】道路や公園等の清掃活動について「現在、参加している」割合が5ポイント以上高く、また【イ】スポーツや健康づくりの活動に「今後、参加したい」割合についても5ポイント以上高くなっています。

問 26 あなたは、地域の活動への参加について、気になることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

n=1,129



### ○全体の傾向

地域の活動への参加に関し気になることについては、「参加する時間がない」が33.6%で最も高く、次いで「参加するきっかけがない」が24.5%、「1～7のようなことは特に感じない」が21.9%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

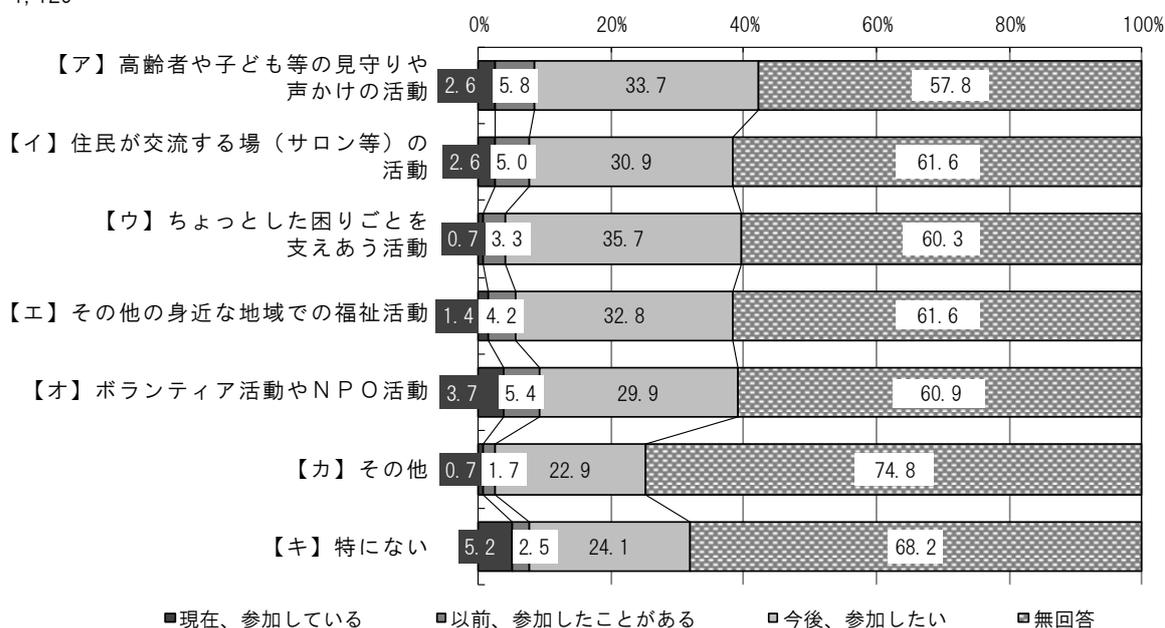
地区別にみると、全体と比較して[北部]で「1～7のようなことは特に感じない」が9.6ポイント高く、「参加したいと思う活動がない」「参加する時間がない」が5ポイント以上低くなっています。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10～40歳代では「参加する時間がない」が10ポイント以上高く、60歳以上では10ポイント以上低くなっています。また、[10・20歳代]では「参加したいと思う活動がない」「活動の情報が得にくい」「参加する時間がない」「参加するきっかけがない」、70歳以上では「1～7のようなことは特に感じない」が5ポイント以上高くなっています。

問 27 あなたは、広域での活動も含め、福祉の活動に参加していますか。また、現在は参加してなくて、今後参加したいと思うものがありますか。（【ア】から【キ】のそれぞれについて、ひとつだけ○）

n=1,129



### ○全体の傾向

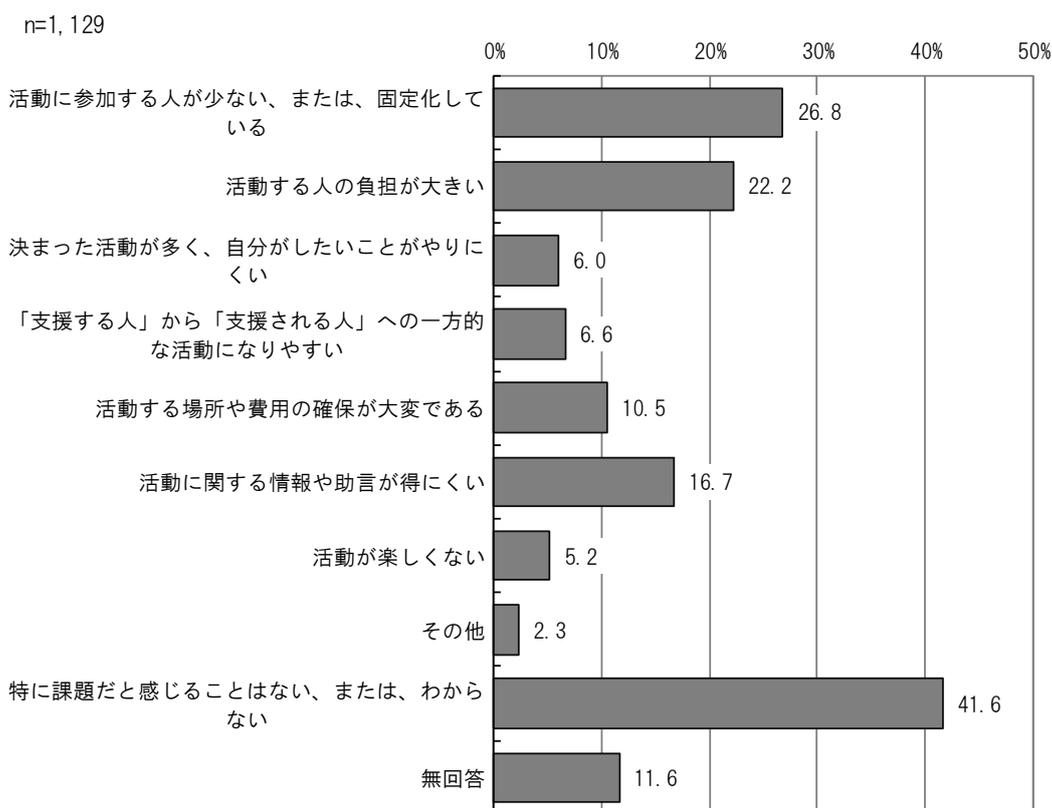
福祉の活動への参加状況について、すべての活動において現在あるいは過去に参加したことがある割合は1割以下となっています。【ア】～【エ】については「今後、参加したい」が3割以上となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

地区別にみても、大きな差はありません。

問 28 市民による福祉活動について、課題だと思いませんか。（あてはまるものすべてに○）



### ○全体の傾向

市民による福祉活動の課題については、「特に課題だと感じることはない、または、わからない」が41.6%で最も高く、次いで「活動に参加する人が少ない、または、固定化している」が26.8%、「活動する人の負担が大きい」が22.2%となっています。

### ○属性別の特徴

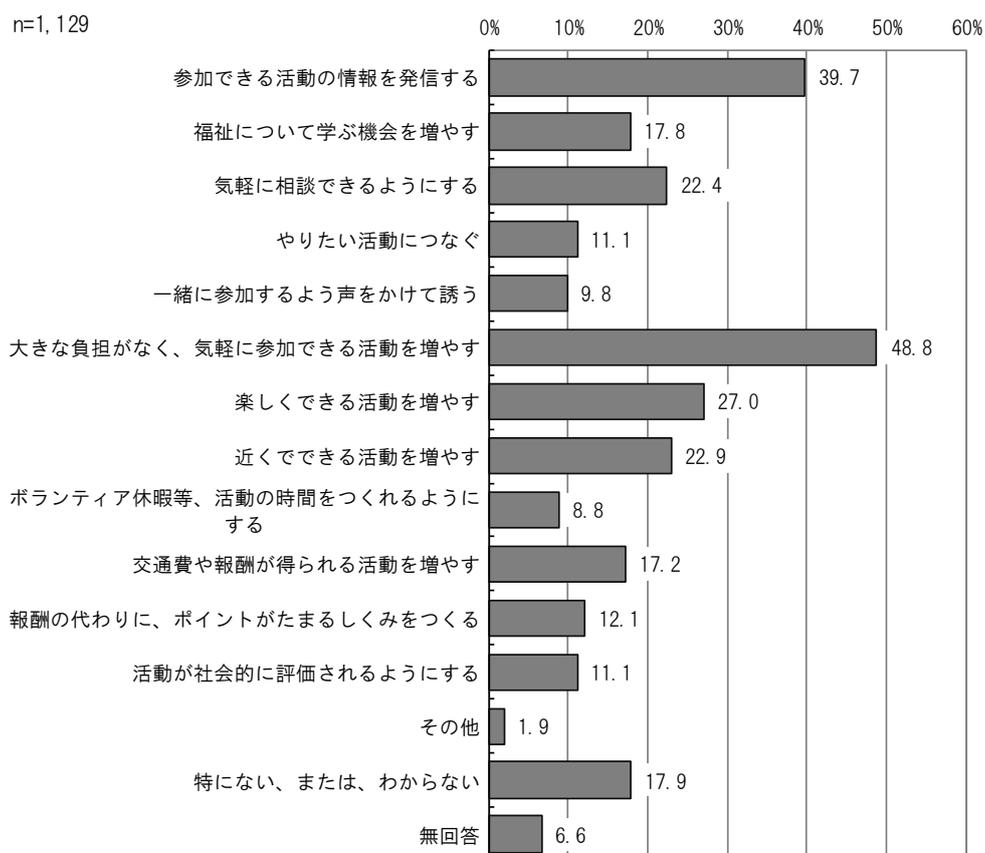
#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して〔南部〕で「活動に参加する人が少ない、または、固定化している」が7.2ポイント低く、〔西部〕で9.2ポイント高くなっています。〔北部〕で「特に課題だと感じることはない、または、わからない」が13.2ポイント高く、「活動に参加する人が少ない、または、固定化している」「活動する人の負担が大きい」「活動に関する情報や助言が得にくい」が5ポイント以上低くなっています。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10～40歳代で「活動に参加する人が少ない、または、固定化している」「活動する人の負担が大きい」、〔40歳代〕で「活動する場所や費用の確保が大変である」が5ポイント以上高くなっています。また、〔10・20歳代〕で「『支援する人』から『支援される人』への一方的な活動になりやすい」「活動に関する情報や助言が得にくい」も5ポイント以上高くなっています。

問 29 あなたは、福祉活動に参加する人を増やすには、どのような取組を特に優先的に進めるのがよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



### ○全体の傾向

福祉活動に参加する人を増やすために優先的に進めるべき取組については、「大きな負担がなく、気軽に参加できる活動を増やす」が48.8%で最も高く、次いで「参加できる活動の情報を発信する」が39.7%、「楽しくできる活動を増やす」が27.0%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して〔中央東〕で「報酬の代わりに、ポイントがたまるしくみをつくる」が6.2ポイント、〔南部〕で「気軽に相談できるようにする」が5.2ポイント、〔北部〕で「一緒に参加するよう声をかけて誘う」が5.7ポイント、「大きな負担がなく、気軽に参加できる活動を増やす」が6.3ポイント低くなっています。

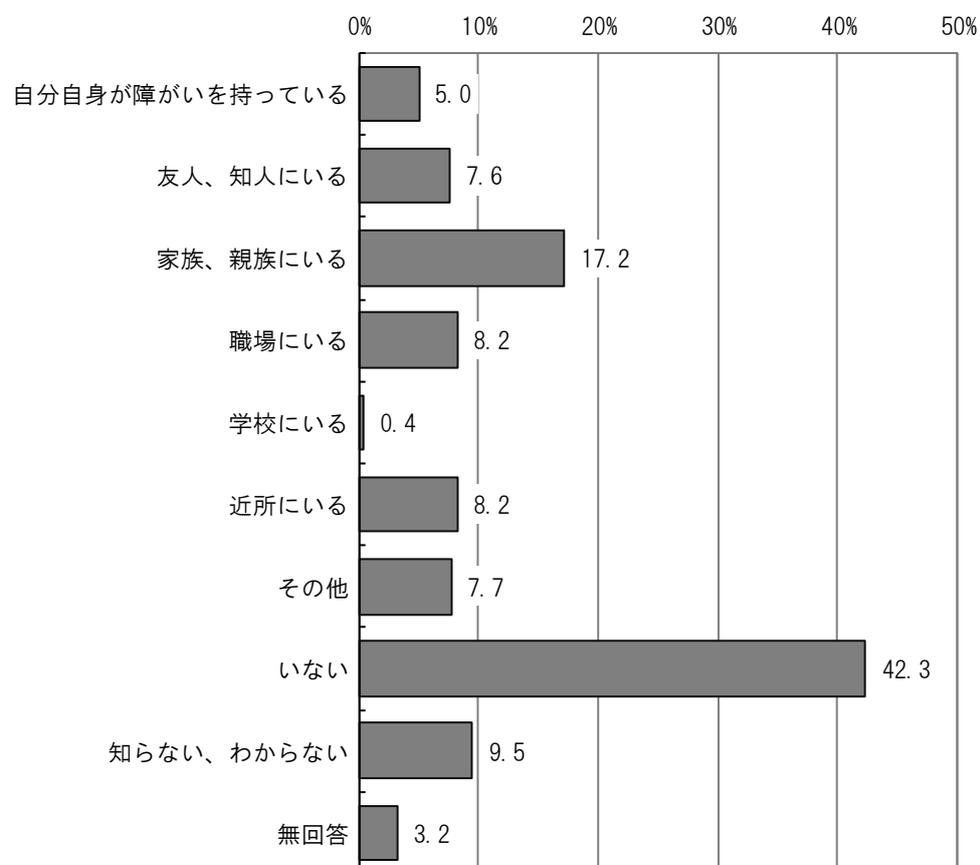
#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10ポイント以上高い項目は、〔10・20歳代〕で「報酬の代わりに、ポイントがたまるしくみをつくる」、〔40歳代〕で「大きな負担がなく、気軽に参加できる活動を増やす」「交通費や報酬が得られる活動を増やす」、〔80歳代以上〕で「特にない、または、わからない」となっています。

(8)障がいのある方との関わりについておたずねします。

問 30 あなたの身近に障がいのある方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

n=1,129



○全体の傾向

身近に障がいのある方がいるかについては、「いない」が42.3%で最も高く、次いで「家族、親族にいる」が17.2%、「知らない、わからない」が9.5%となっています。

○属性別の特徴

①地区別

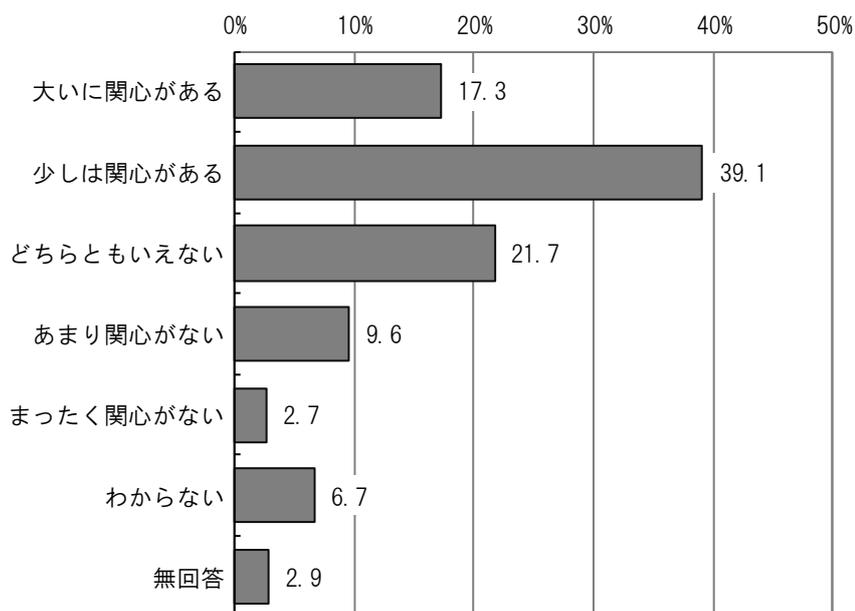
地区別にみると、全体と比較して[南部]で「いない」が7.2ポイント高く、[西部]で5.4ポイント低くなっています。

②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10ポイント以上高い項目は、[10・20歳代]で「その他」、[40歳代]で「職場にいる」となっています。

問 31 障がいのある方に関する話題や活動、ニュース等に、どのくらい関心がありますか。  
(ひとつだけ○)

n=1,129



### ○全体の傾向

障がいのある方に関する話題や活動、ニュース等への関心については、「少しは興味がある」が39.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が21.7%、「大いに興味がある」が17.3%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

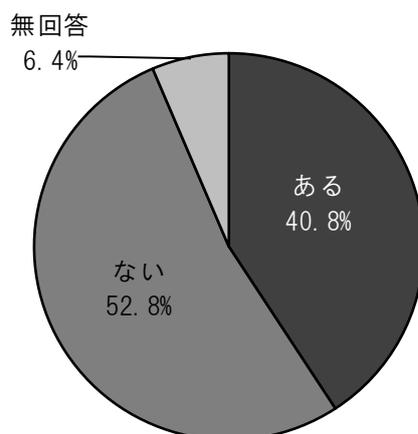
地区別にみても、大きな差はありません。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して [10・20 歳代] で「まったく興味がない」が 5.8 ポイント、[50 歳代] で「どちらともいえない」が 7.8 ポイント、[70 歳代] で「大いに興味がある」が 5.8 ポイント、[80 歳代以上] で「わからない」が 10.5 ポイント高くなっています。

問 32 障がいのある方を手助けしたことがありますか。(ひとつだけ○)

n=1,129



○全体の傾向

障がいのある方を手助けしたことがあるかについては、「ない」が52.8%で、「ある」の40.8%を上回っています。

○属性別の特徴

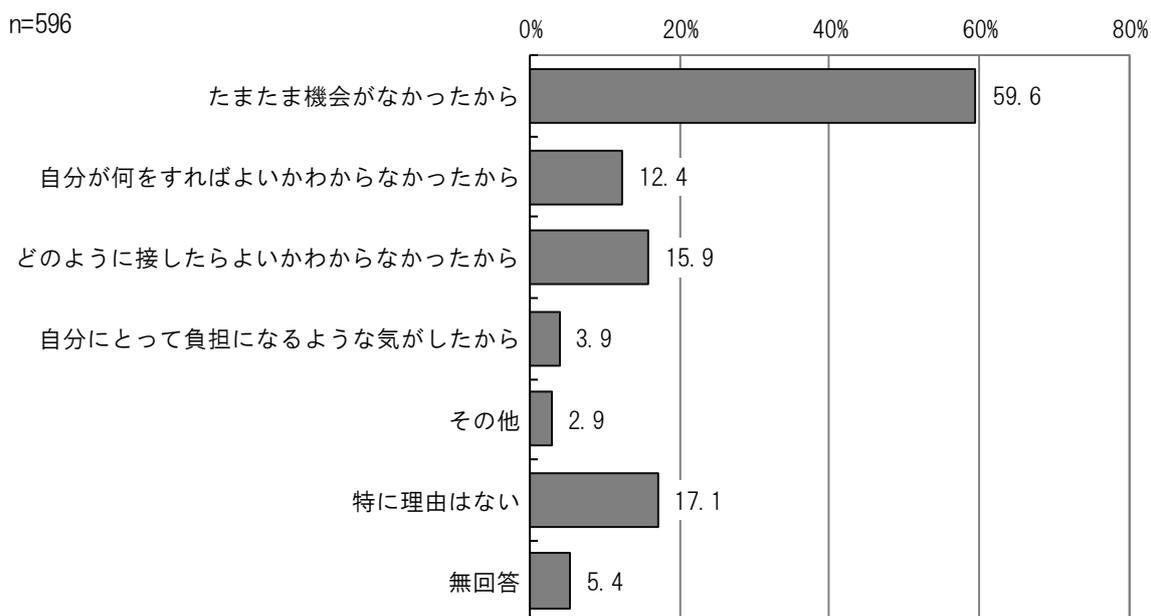
①地区別

地区別にみると、全体と比較して [南部] で「ない」が6.5ポイント高くなっています。

②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して60歳以上で「ある」が5ポイント以上低くなっています。

問 32 で「2 ない」を選んだ人におたずねします。  
 問 33 それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)



### ○全体の傾向

障がいのある方を手助けしたことがない理由については、「たまたま機会がなかったから」が 59.6%で最も高く、次いで「特に理由はない」が 17.1%、「どのように接したらよいかわからなかったから」が 15.9%となっています。

### ○属性別の特徴

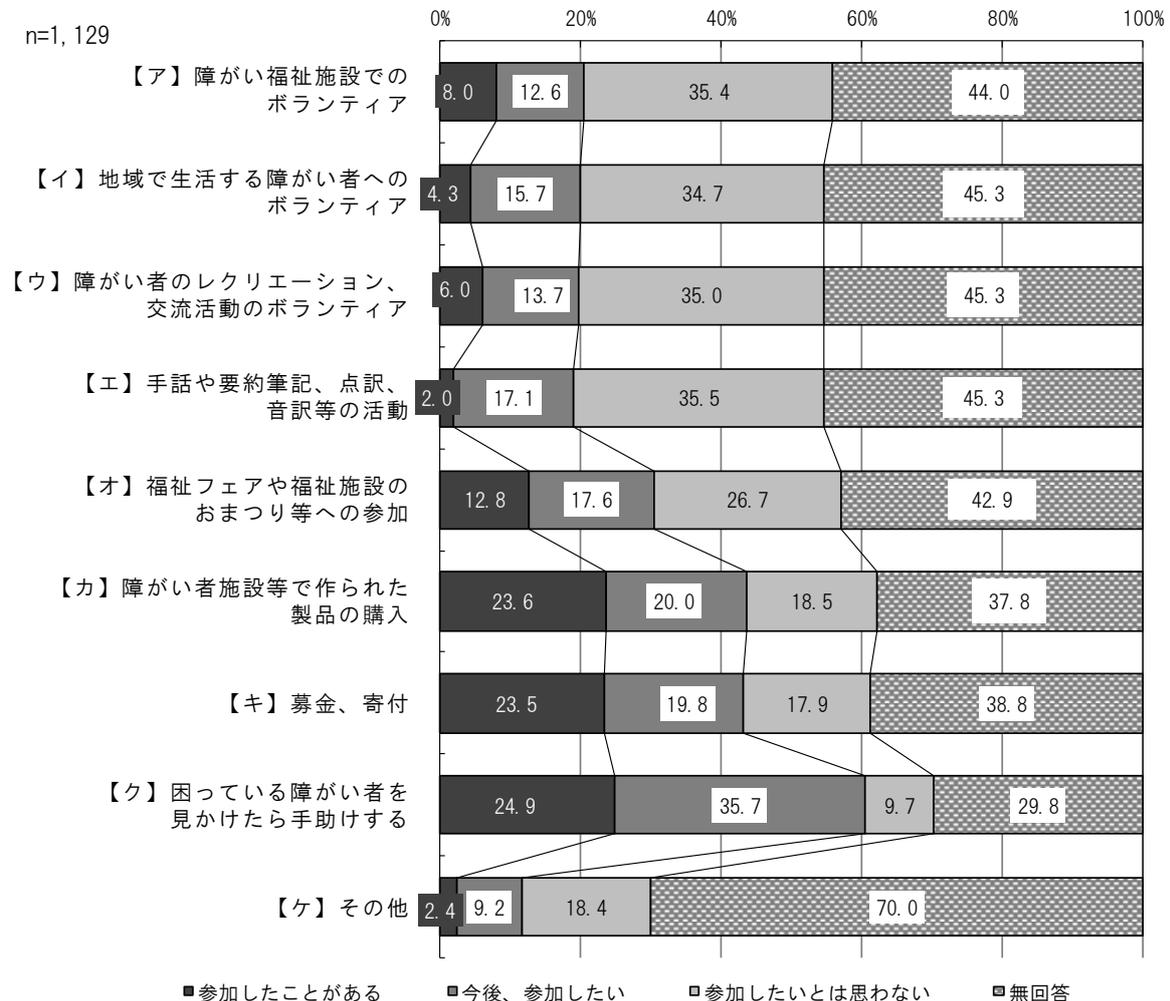
#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して [中央] と [西部] で「自分が何をすればよいかわからなかったから」がそれぞれ5ポイント以上、[南部] で「特に理由はない」が 6.9 ポイント高くなっています。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して 10・20～30 歳代と 50 歳代で「たまたま機会がなかったから」、30～40 歳代で「自分が何をすればよいかわからなかったから」、[40 歳代] で「どのように接したらよいかわからなかったから」、70 歳以上で「特に理由はない」が5ポイント以上高くなっています。

問 34 あなたは障がいのある方を支援する活動に参加したことがありますか、また、現在は参加してなくて、今後参加したいと思うものがありますか。（【ア】から【ケ】のそれぞれについて、ひとつだけ○）



### ○全体の傾向

障がいのある方を支援する活動への参加経験については、【カ】障がい者施設等で作られた製品の購入・【キ】募金、寄付・【ク】困っている障がい者を見かけたら手助けするにおいて「参加したことがある」が2割を超えています。【ク】困っている障がい者を見かけたら手助けするについては、「今後、参加したい」も35.7%と高くなっています。

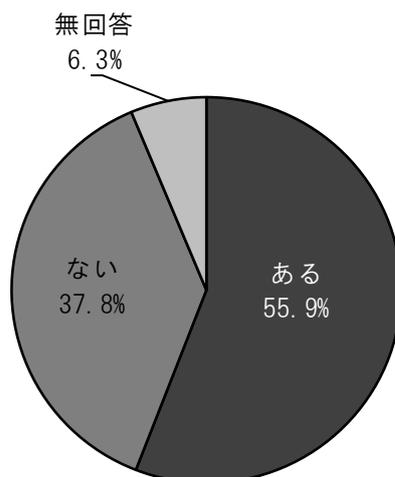
### ○属性別の特徴

#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して [北部] で【オ】福祉フェアや福祉施設のおまつり等への参加について「参加したことがある」が6.4ポイント高くなっています。

問 35 障がいのある方に対する差別・偏見があると思いますか。(ひとつだけ○)

n=1,129



○全体の傾向

障がいのある方に対する差別・偏見については、「ある」が55.9%で、「ない」の37.8%を上回っています。

○属性別の特徴

①地区別

地区別にみると、全体と比較して[中央東]で「ない」が6.6ポイント高く、[北部]で「ある」が8.0ポイント低くなっています。

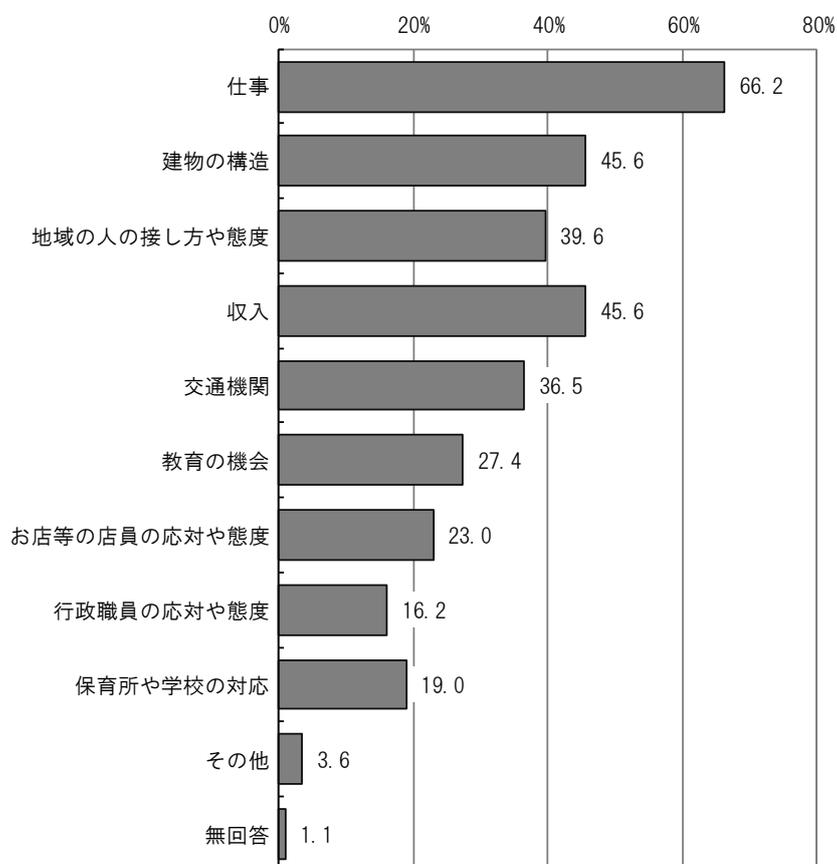
②年齢別

年齢別にみると、60歳代以下では「ある」が「ない」を上回っていますが、70歳以上では「ない」が「ある」を上回っています。

問 35 で「1 ある」を選んだ人におたずねします。

問 36 障がいのある方に対する差別・偏見、または理解のなさはどのようなところにあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

n=631



### ○全体の傾向

障がいのある方に対する差別・偏見、または理解のなさを感じることについては、「仕事」が66.2%で最も高く、次いで「建物の構造」と「収入」が45.6%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

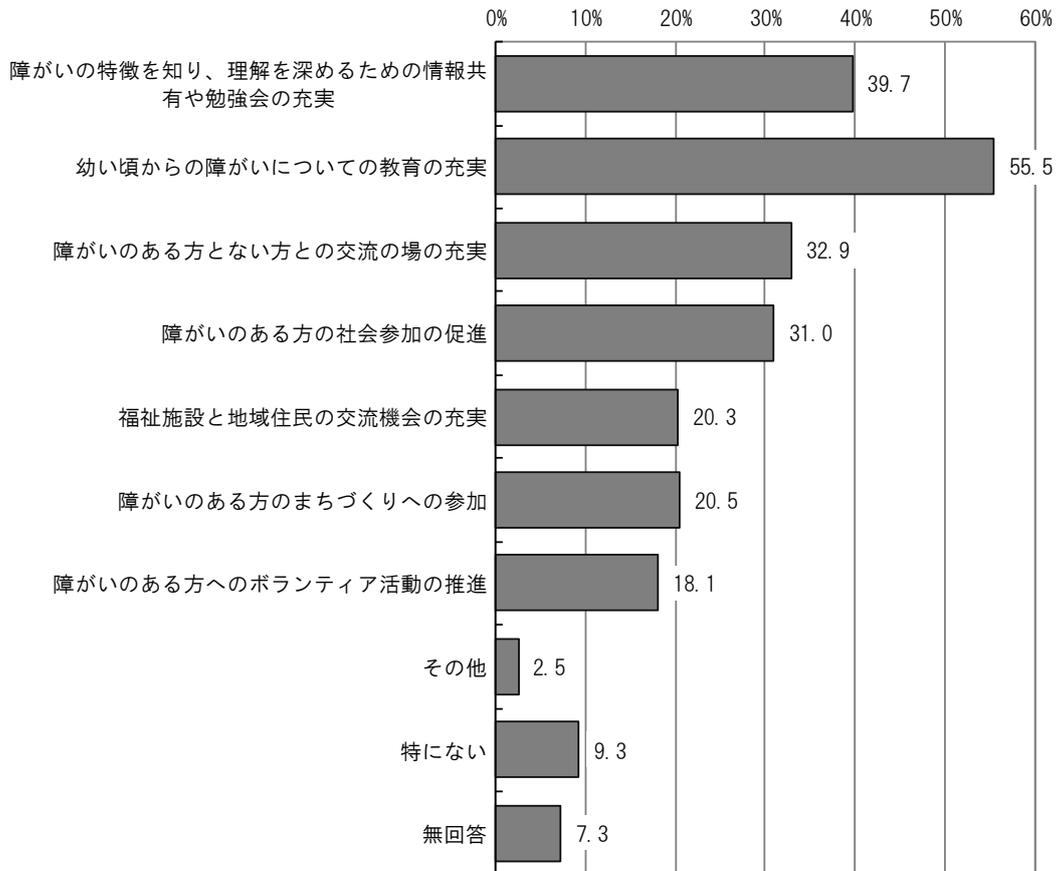
地区別にみると、全体と比較して [中央東] で「仕事」「収入」「交通機関」、[西部] で「仕事」、[北部] で「交通機関」「お店等の店員の対応や態度」が5ポイント以上高くなっています。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して [10・20歳代] で「教育の機会」、10～30歳代で「地域の人の接し方や態度」「お店等の店員の対応や態度」「行政職員の対応や態度」「保育所や学校の対応」、[60歳代] では「建物の構造」「収入」「交通機関」、[80歳代以上] では「建物の構造」「収入」が5ポイント以上高くなっています。

問 37 障がいのある方への理解を深め、差別や偏見をなくすために何が重要だと思いますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

n=1,129



### ○全体の傾向

障がいのある方への理解を深め、差別や偏見をなくすために重要だと思うことについては、「幼い頃からの障がいについての教育の充実」が55.5%で最も高く、次いで「障がいの特徴を知り、理解を深めるための情報共有や勉強会の充実」が39.7%、「障がいのある方とない方との交流の場の充実」が32.9%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して[中央]で「幼い頃からの障がいについての教育の充実」が7.2ポイント、[南部]で「障がいのある方へのボランティア活動の推進」が5.9ポイント高く、[北部]で「障がいのある方の社会参加の促進」が7.7ポイント低くなっています。

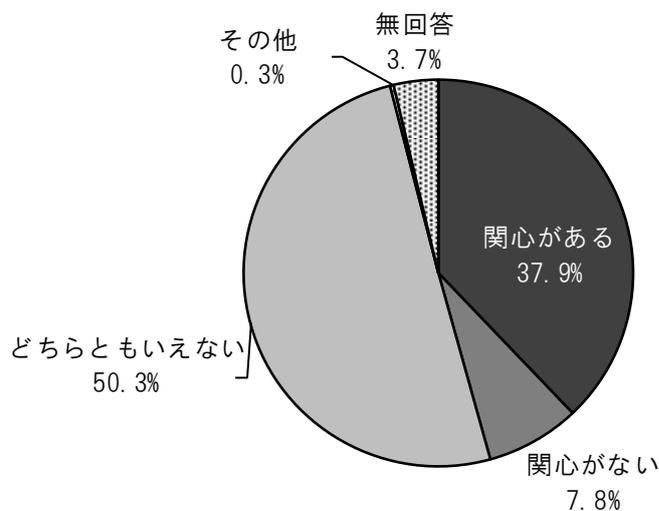
#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10～40歳代で「幼い頃からの障がいについての教育の充実」が5ポイント以上高く、70歳以上で低くなっています。また、[10・20歳代]と[80歳代以上]で「特にない」が10ポイント以上高くなっています。

(9)福祉に関するお考えについておたずねします。

問 38 あなたは、福祉に関心がありますか。(ひとつだけ○)

n=1,129



○全体の傾向

福祉に関心があるかについては、「どちらともいえない」が50.3%で最も高く、次いで「興味がある」が37.9%、「興味がない」が7.8%となっています。

○属性別の特徴

①地区別

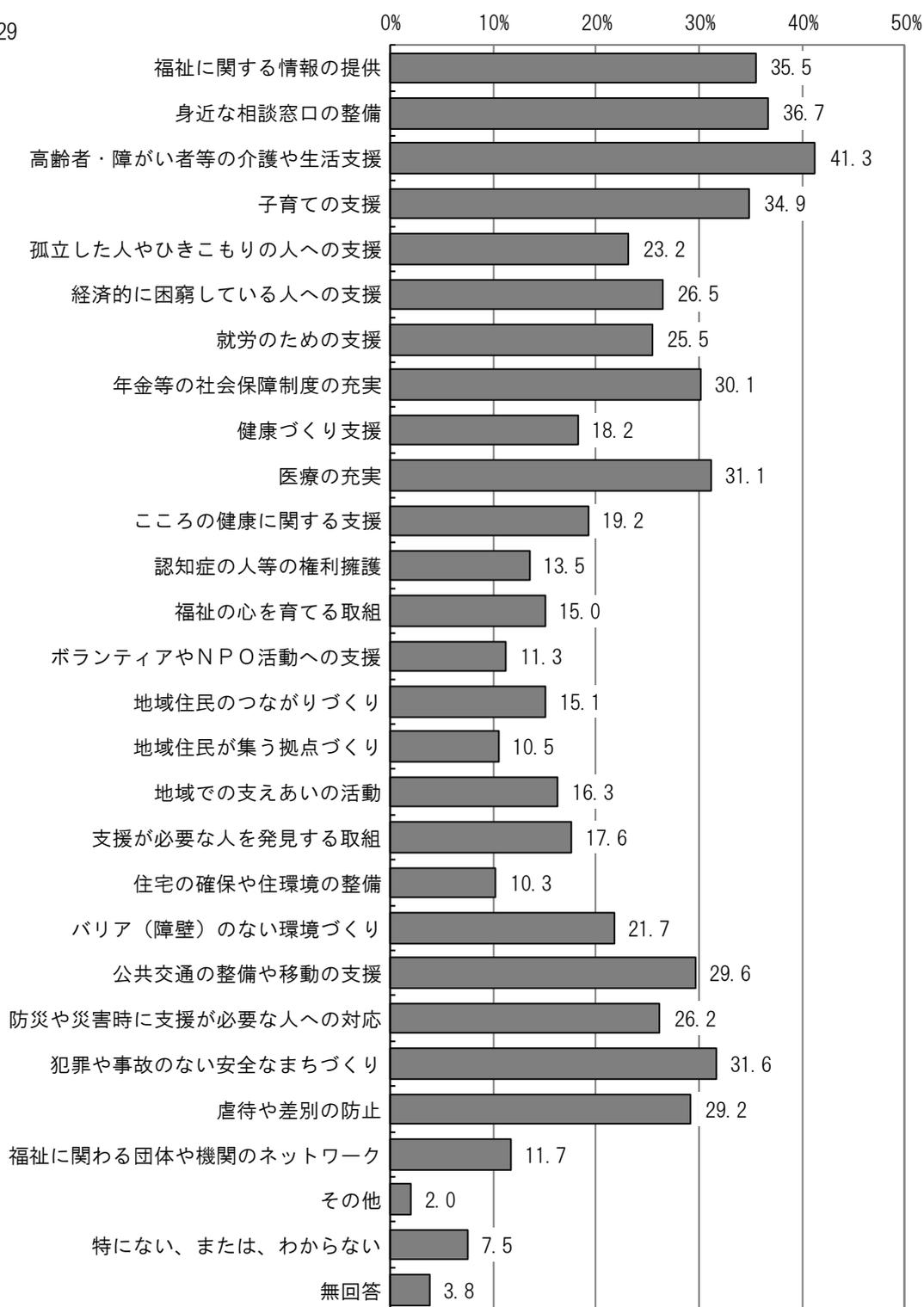
地区別にみても、大きな差はありません。

②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して5ポイント以上高い項目は10～30歳代で「興味がない」、[50歳代]で「どちらともいえない」、70歳以上で「興味がある」となっています。

問 39 あなたは、地域の福祉を充実するために、鎌ヶ谷市はどのようなことに特に優先的に取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

n=1,129



## ○全体の傾向

地域の福祉を充実するために、鎌ヶ谷市はどのようなことに特に優先的に取り組むべきだと思うかについては、「高齢者・障がい者等の介護や生活支援」が41.3%で最も高く、次いで「身近な相談窓口の整備」が36.7%、「福祉に関する情報の提供」が35.5%となっています。

## ○属性別の特徴

### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して5ポイント以上高い項目は、[西部]で「就労のための支援」「健康づくり支援」「地域住民のつながりづくり」「地域での支えあいの活動」「防災や災害時に支援が必要な人への対応」「虐待や差別の防止」、[北部]で「孤立した人やひきこもりの人への支援」「就労のための支援」「こころの健康に関する支援」「福祉の心を育てる取組」「住宅の確保や住環境の整備」「虐待や差別の防止」となっています。

### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して5ポイント以上高い項目は、[10・20歳代]で「子育ての支援」「虐待や差別の防止」「その他」、[30歳代]で「子育ての支援」、[40歳代]で「就労のための支援」、[50歳代]で「福祉に関する情報の提供」「身近な相談窓口の整備」「こころの健康に関する支援」「福祉の心を育てる取組」、[60歳代]で「福祉に関する情報の提供」「高齢者・障がい者等の介護や生活支援」「経済的に困窮している人への支援」「就労のための支援」「年金等の社会保障制度の充実」「ボランティアやNPO活動への支援」「支援が必要な人を発見する取組」「防災や災害時に支援が必要な人への対応」「虐待や差別の防止」、[70歳代]で「高齢者・障がい者等の介護や生活支援」、[80歳代以上]で「特になし、または、わからない」となっています。

問 40 上記の問 39 の取組で、地域や民間の団体・事業者等が積極的に取組むべきだと思うものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

n=1,129



## ○全体の傾向

地域や民間の団体・事業者等が積極的に取り組むべきだと思うものについては、「高齢者・障がい者等の介護や生活支援」が28.7%で最も高く、次いで「身近な相談窓口の整備」が28.3%、「福祉に関する情報の提供」が26.4%となっています。

## ○属性別の特徴

### ①地区別

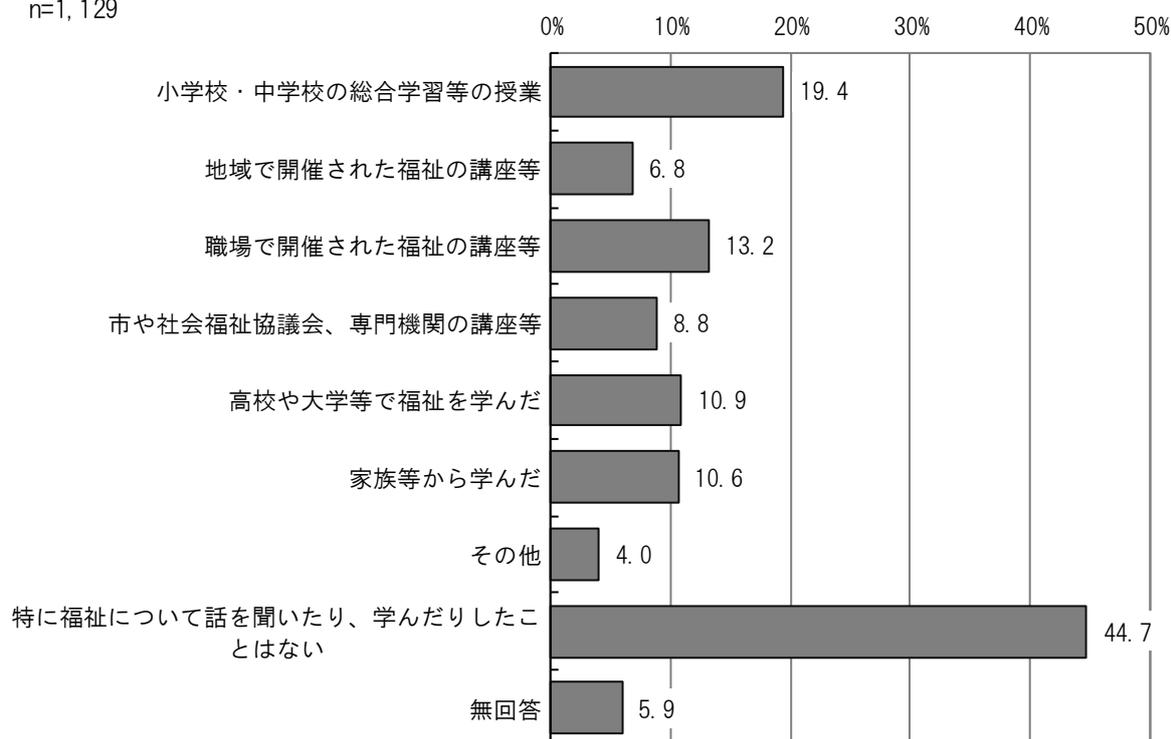
地区別にみると、全体と比較して5ポイント以上高い項目は、[西部]で「就労のための支援」「ボランティアやNPO活動への支援」「地域での支えあいの活動」「バリア（障壁）のない環境づくり」「福祉に関わる団体や機関のネットワーク」、[北部]で「経済的に困窮している人への支援」「就労のための支援」「年金等の社会保障制度の充実」「医療の充実」「こころの健康に関する支援」「認知症の人等の権利擁護」「福祉の心を育てる取組」「住宅の確保や住環境の整備」「虐待や差別の防止」となっています。

### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して5ポイント以上高い項目は、[10・20歳代]で「子育ての支援」「虐待や差別の防止」「特にない、または、わからない」、[30歳代]で「子育ての支援」、[50歳代]で「地域住民のつながりづくり」、[60歳代]で「福祉の心を育てる取組」「防災や災害時に支援が必要な人への対応」、[70歳代]で「高齢者・障がい者等の介護や生活支援」、[80歳代以上]で「特にない、または、わからない」となっています。

問 41 あなたは、どこかで福祉について話を聞いたり、学んだりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

n=1,129



### ○全体の傾向

どこかで福祉について話を聞いたり、学んだりしたことがあるかについては、「特に福祉について話を聞いたり、学んだりしたことはない」が44.7%で最も高く、次いで「小学校・中学校の総合学習等の授業」が19.4%、「職場で開催された福祉の講座等」が13.2%となっています。

### ○属性別の特徴

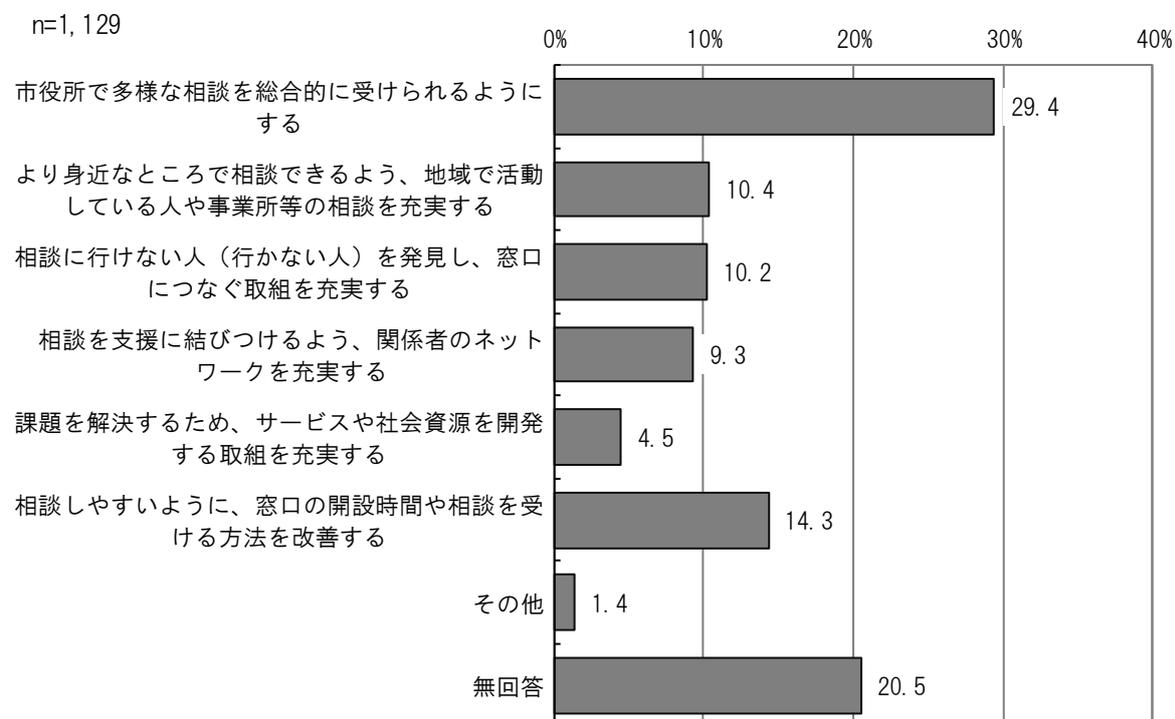
#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して〔南部〕で「特に福祉について話を聞いたり、学んだりしたことはない」が5.8ポイント、〔西部〕で「家族等から学んだ」が6.5ポイント高くなっています。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10～40歳代で「小学校・中学校の総合学習等の授業」が高く、60歳代以上で低くなっています。また、10～30歳代で「高校や大学等で福祉を学んだ」が10ポイント以上高く、50歳以上で低くなっています。一方、60歳以上で「特に福祉について話を聞いたり、学んだりしたことはない」が高く、10～40歳代で低くなっています。〔70歳代〕では「地域で開催された福祉の講座等」「市や社会福祉協議会、専門機関の講座等」も5ポイント以上高くなっています。

問 42 「地域共生社会」では、多様な生活課題に制度等の枠を超えて横断的に対応する相談支援体制が求められますが、鎌ヶ谷市でそうした包括的な相談支援の仕組みを充実していくうえで、特に優先的に力をいれて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。（ひとつだけ○）



### ○全体の傾向

鎌ヶ谷市で「地域共生社会」の考え方に基づく包括的な相談支援の仕組みを充実していくうえで、特に優先的に力をいれて取り組むべきことについては、「市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする」が29.4%で最も高く、次いで「相談しやすいように、窓口の開設時間や相談を受ける方法を改善する」が14.3%、「より身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所等の相談を充実する」が10.4%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

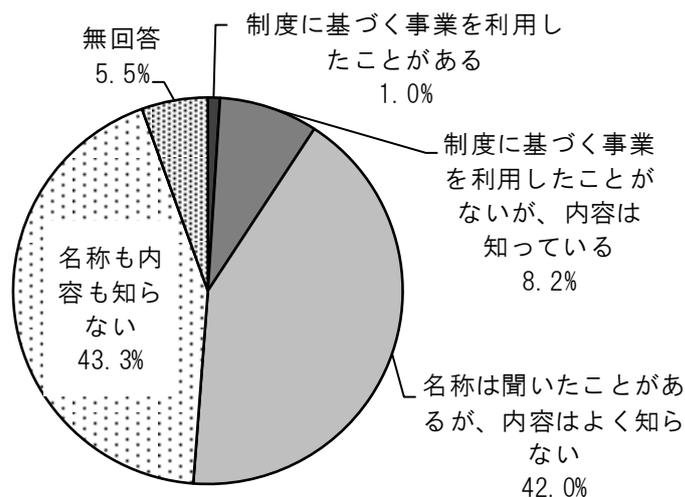
地区別にみると、全体と比較して〔西部〕で「より身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所等の相談を充実する」が5.8ポイント高くなっています。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して5ポイント以上高い項目は〔10・20歳代〕で「相談に行けない人（行かない人）を発見し、窓口につなぐ取組を充実する」「相談を支援に結びつけるよう、関係者のネットワークを充実する」、〔30歳代〕で「相談に行けない人（行かない人）を発見し、窓口につなぐ取組を充実する」「課題を解決するため、サービスや社会資源を開発する取組を充実する」、〔70歳代〕で「市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする」となっています。

問 43 あなたは、生活困窮者自立支援制度について知っていますか。(ひとつだけ○)

n=1,129



○全体の傾向

生活困窮者自立支援制度については、「名称も内容も知らない」が43.3%で最も高く、次いで「名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が42.0%、「制度に基づく事業を利用したことがないが、内容は知っている」が8.2%となっています。

○属性別の特徴

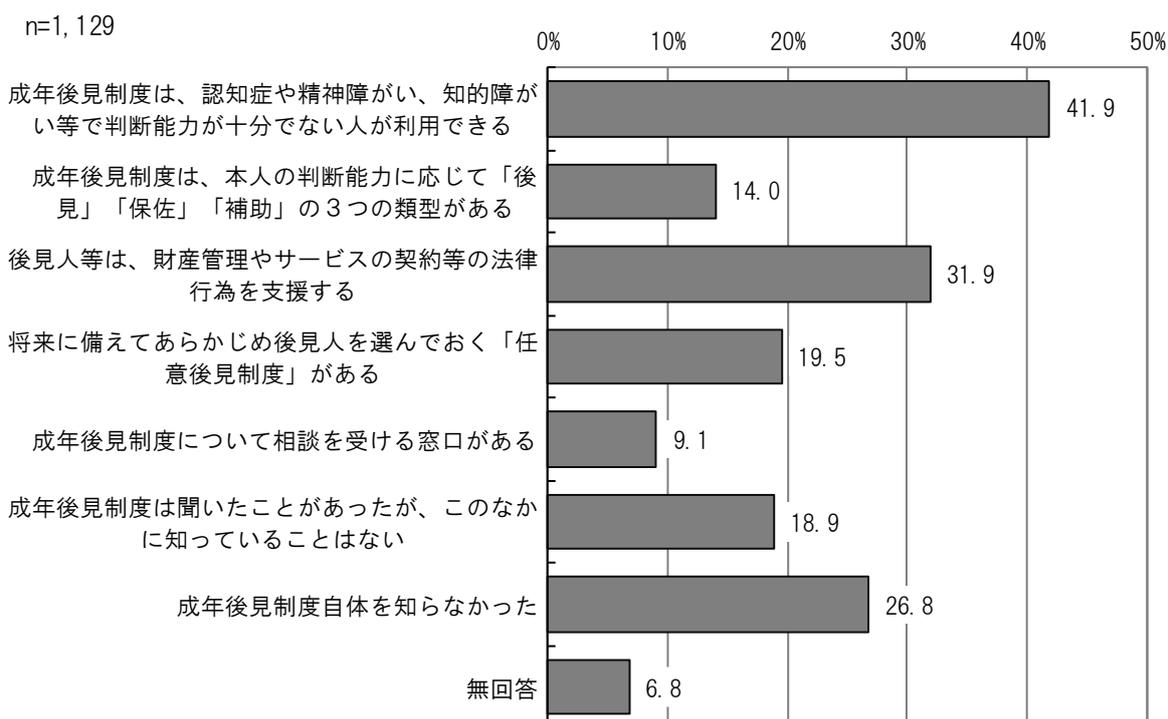
①地区別

地区別にみると、全体と比較して〔西部〕で「制度に基づく事業を利用したことがないが、内容は知っている」が5.3ポイント高くなっています。

②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10～40歳代で「名称も内容も知らない」が5ポイント以上高くなっています。また、60～70歳代では「名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が5ポイント以上高く、「名称も内容も知らない」が5ポイント以上低くなっています。

問 44 あなたは、成年後見制度について、次のようなことを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）



### ○全体の傾向

成年後見制度について知っていることについては、「成年後見制度は、認知症や精神障がい、知的障がい等で判断能力が十分でない人が利用できる」が41.9%で最も高く、次いで「後見人等は、財産管理やサービスの契約等の法律行為を支援する」が31.9%、「成年後見制度自体を知らなかった」が26.8%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

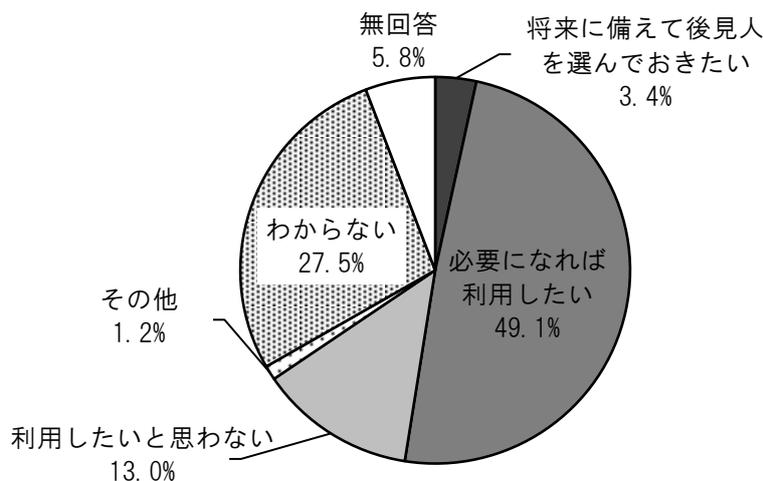
地区別にみると、全体と比較して〔西部〕で「成年後見制度は、認知症や精神障がい、知的障がい等で判断能力が十分でない人が利用できる」が6.7ポイント、〔北部〕で「成年後見制度は、本人の判断能力に応じて『後見』『保佐』『補助』の3つの類型がある」が5.2ポイント高くなっています。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10～30歳代で「成年後見制度は、認知症や精神障がい、知的障がい等で判断能力が十分でない人が利用できる」「後見人等は、財産管理やサービスの契約等の法律行為を支援する」が10ポイント以上低く、50～70歳代では5ポイント以上高くなっています。また、10～40歳代で「成年後見制度自体を知らなかった」が5ポイント以上高く、50歳以上では5ポイント以上低くなっています。

問 45 あなたは、支援が必要になったときには、成年後見制度を利用したいと思いますか。  
(ひとつだけ○)

n=1,129



### ○全体の傾向

成年後見制度を利用したいと思うかについては、「必要になれば利用したい」が49.1%で最も高く、次いで「わからない」が27.5%、「利用したいと思わない」が13.0%となっています。

### ○属性別の特徴

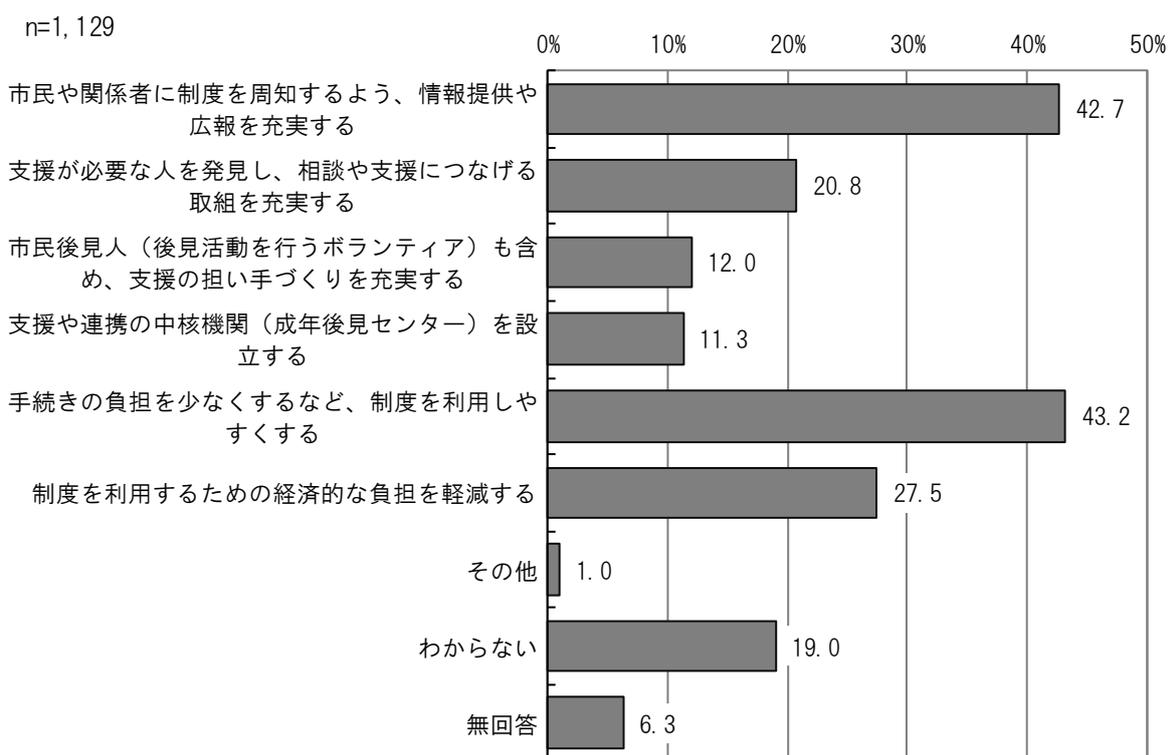
#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して[南部]で「必要になれば利用したい」が5.0ポイント低く、「わからない」が5.3ポイント高くなっています。[西部]では「わからない」が6.8ポイント低く、「必要になれば利用したい」が6.8ポイント高くなっています。また、[北部]で「必要になれば利用したい」が12.1ポイント低くなっています。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して10～40歳代で「必要になれば利用したい」、70歳以上で「利用したいと思わない」がそれぞれ5ポイント以上高くなっています。

問 46 あなたは、鎌ヶ谷市が成年後見制度の利用を促進するうえで、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



### ○全体の傾向

鎌ヶ谷市が成年後見制度の利用を促進するうえで、特に優先的に力を入れて取り組むべきことについては、「手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする」が43.2%で最も高く、次いで「市民や関係者に制度を周知するよう、情報提供や広報を充実する」が42.7%、「制度を利用するための経済的な負担を軽減する」が27.5%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

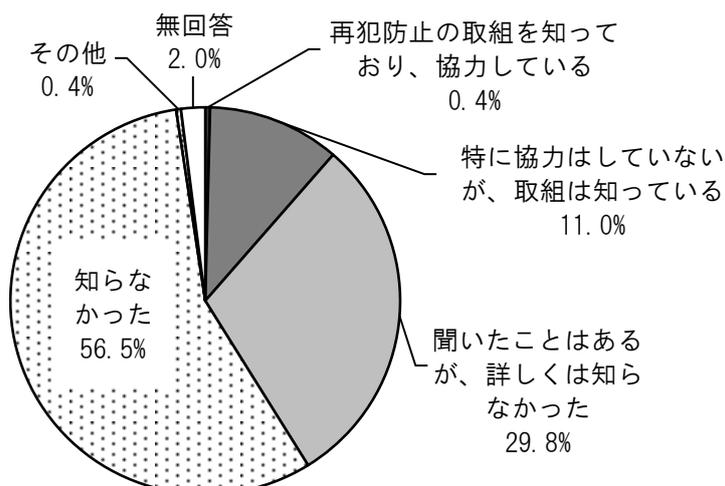
地区別にみると、全体と比較して、[西部]で「手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする」が5.4ポイント、[北部]で「手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする」が11.6ポイント、「制度を利用するための経済的な負担を軽減する」が5.4ポイントそれぞれ高くなっています。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して、[10・20歳代]で「わからない」が15.0ポイント、[40歳代]で「支援が必要な人を発見し、相談や支援につなげる取組を充実する」「市民後見人（後見活動を行うボランティア）も含め、支援の担い手づくりを充実する」が5ポイント以上、[50歳代]で「制度を利用するための経済的な負担を軽減する」が5.8ポイントそれぞれ高くなっています。

問 47 あなたは、再犯防止の取組が進められていることを知っていましたか。(ひとつだけ○)

n=1,129



○全体の傾向

再犯防止の取組が進められていることについては、「知らなかった」が56.5%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった」が29.8%、「特に協力はしていないが、取組は知っている」が11.0%となっています。

○属性別の特徴

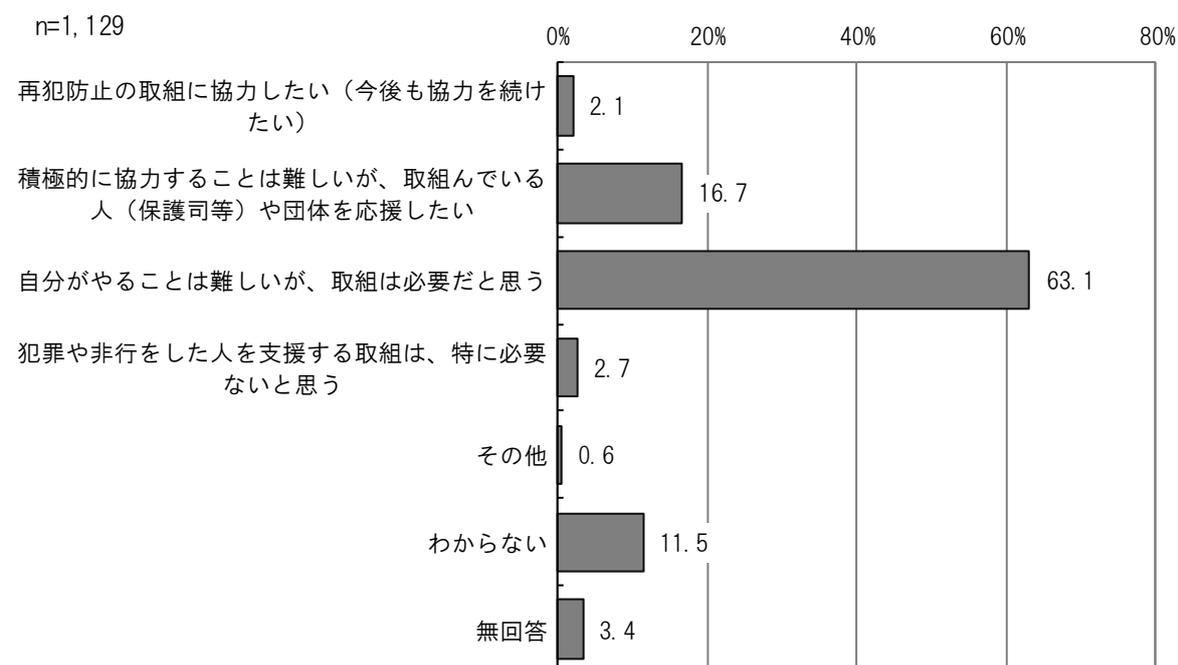
①地区別

地区別にみると、全体と比較して、[中央]で「知らなかった」が5.8ポイント高く、「聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった」が5.2ポイント低くなっています。[中央東]と[北部]で「聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった」が5ポイント以上高く、「知らなかった」が5ポイント以上低くなっています。

②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して5ポイント以上高い項目は、10～40歳代で「知らなかった」、[70歳代]で「特に協力はしていないが、取組は知っている」「聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった」、[80歳代以上]で「特に協力はしていないが、取組は知っている」となっています。

問 48 あなたは、再犯防止の取組を進めることについて、どのように思いますか。(ひとつだけ○)



### ○全体の傾向

再犯防止の取組を進めることに関し、どのように思うかについては、「自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う」が63.1%で最も高く、次いで「積極的に協力することは難しいが、取組んでいる人 (保護司等) や団体を応援したい」が16.7%、「わからない」が11.5%となっています。

### ○属性別の特徴

#### ①地区別

地区別にみると、全体と比較して [中央東] で「自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う」が5.3ポイント高く、[北部] で6.9ポイント低くなっています。

#### ②年齢別

年齢別にみると、全体と比較して [10・20歳代] で「わからない」が10.8ポイント高く、「自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う」が8.8ポイント低くなっています。また、[30歳代] では「自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う」が11.4ポイント低くなっています。[70歳代] では「自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う」が9.2ポイント高く、「積極的に協力することは難しいが、取組んでいる人 (保護司等) や団体を応援したい」が6.4ポイント低くなっています。

## 4 自由回答

### (1)ご意見の概要

「地域住民が支えあい、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりについてご意見、ご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。」という設問に対し、231件のご回答をいただきました。

「鎌ヶ谷市地域福祉計画」の施策を踏まえ、あわせて17の項目に分類しました。項目と各項目に該当するご意見の件数は以下の通りです。

項目名	件数
①地域でのふれあい、支えあいの推進	43件
②地域での支えあい拠点の充実	4件
③ボランティア等の多様な担い手づくり	8件
④身近な相談支援体制の充実	6件
⑤生活困窮者の自立支援	0件
⑥地域福祉に関する広範な情報提供の推進	9件
⑦災害・避難時の支援	2件
⑧安全なまちづくり・防災防犯活動	37件
⑨孤立化・虐待防止と権利擁護	7件
⑩地域福祉を支えるネットワークの推進	1件
⑪福祉に関する意識	12件
⑫高齢者福祉	7件
⑬障がい者福祉	4件
⑭児童福祉・子育て支援	3件
⑮アンケート調査に関して	12件
⑯市政全般について	35件
⑰その他	41件
合計	231件

## (2)代表意見

### ①地域でのふれあい、支えあいの推進

- ・子ども達が安心して学校に通えるように、お年寄りが幸せに生きられるような町であるようにせめて見守りをして行きたいと思う。
- ・同じマンションに住んで居ても挨拶すらしない人が多いです。支え合い、助け合い等は難しいと思います。
- ・フルタイムで働いていると、「地域」という意識はとても薄くなります。役所が開いている時間になかなか行けなかったりもするので、そういった意味でも市民としての意識は薄いと実感しています。
- ・自治会について。子どもが小さい頃は運動会などイベントにも参加していたが、今は年に1度会費を払い、回覧板を回すだけになってしまった。参加できそう、興味のある催しも少なく、運動会も若い人が少なく盛り上がっていないように感じる。昔から続いているからと、同じ内容を繰り返すのではなく、今一度各イベントの開催は必要なのか、または盛り上げるにはどうすれば良いか、よく検討することが必要のように思う。自治会費には半ば強制的に募金も含まれており、費用の運用にも疑問を感じる。将来的には退会を考えている。もう少し地域が盛り上がる自治会であってほしいと思う。
- ・行き会う人とのあいさつを心掛ける。
- ・子どものいない世帯は、子どものいる世帯とあいさつするくらいの関係であり、深く関わる関係にはならない。
- ・地域住民が支え合い、助け合いの必要性、大切な事、学校や家庭での教育を充実してもらいたい。
- ・地域住民が支えあい、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりは、大切だとは思いますが、個人のプライバシーや尊厳等を配慮することも重要だと思います。

### ②地域での支えあい拠点の充実

- ・気軽に立寄れて、おしゃべりができるフリースペースのような場所があれば良いと思う。
- ・色々な人が参加出来るコミュニティの促進。コミュニティサークルが参加出来るサミットの開催。
- ・趣味を生かしたつながりサークルなど。

### ③ボランティアなどの多様な担い手づくり

- ・漠然とボランティア活動と言っても実際にどうしていいかわからないし具体的な方法を提示してもらえると参加しやすいと思います。
- ・ボランティアに重点を置いていますが、その考えで良いのか検討する必要があると思います。厳しい世の中にあってボランティアに頼るのではなく、行政が中心に活動し市民が無理なく出来る範囲で協力する体制が必要だと思います。ボランティアは無報酬なので利用は限界があると思っています。
- ・将来、現役を退いた後に、勉強、学習して民生委員の手伝いもしくは、積極的にかかわりを持つ気持ちはあります。きっかけがあれば関わりたいと思いますが手順が分かりません。

#### ④身近な相談支援体制の充実

- ・ワンストップで解決できる支援が必要だと思う。
- ・高齢者や子育てに悩んでいる人達が気軽に、相談できる環境作りをして欲しいです。市役所に行く事ありませんが、役員の方が忙しそうにしていたり、難しい言葉で説明してくる方がいたりするのでとても苦手です。
- ・住民の国籍の多様化によって、言語による意思疎通が難しい方も増えているので、そういった方たちとの意思疎通が必要だと思う。昔に比べて近所付き合いも希薄になりがちなので、悩みや困り事の相談もし難く、相談出来る事すら知らない場合も多い。相談出来ることを知っていても、市役所の窓口などは『そこまで大事にしたいくない』という意識が働いてしまうので、世間話程度の気軽さで悩みが聞ける方法があれば、虐待等の問題にも効果があると思う。

#### ⑤生活困窮者の自立支援

該当するご意見はありませんでした。

#### ⑥地域福祉に関する広範な情報提供の推進

- ・夫が定年退職をしてから、民生委員、児童委員をやっていますが、地域の方には周知されていないのではないかと思います。情報を発信する工夫が必要だと感じています。
- ・地域住民の誰がどのような福祉及び支援活動をしているかが分かり難い。
- ・もう少し、情報が得やすくなると思います。災害が起こった時に、市のホームページを見てもとてもわかりにくく、情報も遅いように感じました。高齢者などが誰でもインターネットなどで情報を得られるとも思いませんし、防災無線も小さくて聞き取りづらく、情報が得づらかったと思います。さまざまな市の取り組みもそうですが、情報提供をしている、というだけで相手が受け取れなければ意味がないと思います。

#### ⑦災害・避難時の支援

- ・自然災害の時の支援や地域とのつながりが、円滑になる事を望みます。
- ・元消防職員の立場から災害時支援やアドバイスを必要とするお年寄りなど見守り、災害時には積極的に支援したい。

#### ⑧安全なまちづくり・防災防犯活動

- ・歩道が狭い所が多く、子どもや高齢者が通るのに不安を感じる。
- ・鎌ヶ谷市は道路の整備が悪いように思う。自転車や車イスでの移動に道幅が狭く、電信柱が道路を塞ぎ、時には歩くのも不便なところがある。高齢になり車が使えなくなった時の事が不安。タクシー券とか、移動バスの充実があれば良いと思う。
- ・東鎌ヶ谷地区は交通手段（コミュニティバス）、公民館がなく高齢者にとって車がないと移動できません。不便を感じます。
- ・防犯対策をきめ細かく進めて欲しい。（防犯灯、防犯カメラ設置等）。

- ・コミュニティセンターや公民館等の施設が、道が狭い所や、歩道が無い所にあるので、ベビーカーや自転車で行きづらいと感じています。市役所付近にはまだ無いので新しく出来ると助かります。その他、踏切の高架など住みやすい町に成って来ていると感じています。日々の激務の中本当にありがとうございます。
- ・以前にも増して事件・事故が多くなった昨今、鎌ヶ谷市の迷惑防止条例に関する事例、報告手順などを分りやすく広報などで市民に知らせる必要がある。大きな事件に繋がる前段の迷惑行為を防止することから安心・安全を確保することが重要になっているものと感じている。
- ・鎌ヶ谷市から、災害や行方不明の方の呼びかけがスピーカーで流れてくるのですが全然聞き取れなくていつも困っています。災害の時など、重要な情報などをきちんと市民に届けて下さると助かります。

### ⑨孤立化・虐待防止と権利擁護

- ・一人で生活している人に対して民生委員など時々訪問して欲しい。
- ・子どもの虐待が泣き声などで疑わしい場合、近所の人がり確り通報するべきです。役所は確信が無くても通報出来るような所を設けて匿名で受け入れると宣伝し広く知らせ、誰もが電話し易い様にして欲しい。
- ・高齢化が進み、家に閉じこもっている人が増えてきていると思います。地域で集まって話ができる場ができてくると良いと思います。

### ⑩地域福祉を支えるネットワークの推進

- ・福祉、介護、医療の連携強化のネットワークが必要と思います。

### ⑪福祉に関する意識

- ・アンケートに答えてみて、福祉について分からない事ばかりだなと思いました。身近にいないので、無関心だった事が一番だと思いますが、特に障がいがある方に対してこわいと思っているところがあります。
- ・福祉に関する重要な事は自主自立である。ぼたもち式に上からくるものではないと思う。福祉を必要とされる人達にこそ必要と考える。大きな余計な組織は必要ないし作る必要もないと考える。税金の無駄遣いは厳禁。もっと必要な所へ使ってもらいたい。
- ・保育士、介護士など福祉に携わるお仕事をされている方の処遇改善、待遇改善をすることでより質の高い福祉サービスが行えると思います。今の福祉に携わってくださっている方々を大切にしてほしいです。

### ⑫高齢者福祉

- ・高齢者に対する福祉が少ない。もっとケアが欲しい。
- ・介護施設の充実と、利用料金の負担軽減。高齢化が進む中、認知症や要介護の家族を面倒見なければならぬ家庭に対する支援や、無料または、低利用金で利用出来る介護施設は、地方公共団体が積極的に建設すべきである。また、手続等の簡略化も大事である。老人福祉の問題は、今後の最大の課題であると思われる。

- ・介護認定が決まるまでの期間が家族の負担になる現状を考慮して、手続きに時間が出来るだけかからないような制度を検討して頂きたい。

### ⑬障がい者福祉

- ・障がい者を支援する事はとても大事だと思いますが、障がい者側で手助けが当たり前という態度でいられると、正直サポートする必要とは、と感じてしまいます。サポートをしてくれる方に対しての感謝を出してもらえればもっといいかと感じています。
- ・発達障がい児を持つ親に対して支援ルームなど情報をしっかり伝えて欲しい。利用できるサービスなどこちらから聞く前に教えて欲しい。近所付き合いなど昔みたいに出来るように市で色々イベントなど企画して欲しい。障がいがある、なしに関係なく、誰もが安心して暮らせるように小さい頃から接する機会を増やす事をして欲しい。学校など分けず、学べるようにして欲しい。
- ・私の家には発達障害のある子どもがおり、随分前になりますが、市役所へ特別扶養手当の申請に行った所、「この制度をどこで知ったんですか。」と問われ驚きました。当時、市の養護施設に通っていたのですが、本来ならば養護施設、もしくは市役所から、そういった制度があることを教えてくれるべきではないでしょうか。私にしてみれば、なぜもっと早く教えてくれなかったのかと思いました。これに限らず、どんな事でも、知らないと損をする制度ではなく、誰でも分かりやすく情報を取り入れたり、また支えられるような制度や街づくりが出来ればいいなと思います。

### ⑭児童福祉・子育て支援

- ・鎌ヶ谷では子どもセンターのような施設がありません。あるのかもしれませんが、市役所の方に聞いても「かまがや子育てガイドブックを見て下さい」と言われるばかりで、どこがちゃんと機能しているのかよく分からず、おそらく担当者の方も、どこがちゃんと機能しているか把握されてなかったのではないのでしょうか。お母さん同士で情報交換したり、友達が欲しかったのですが、残念です。

### ⑮アンケート調査に関して

- ・3000人を選んだとの事ですが本人が重度障害を持っています。質問内容が失礼ではないかと思う。選んだ後にその人の事を良くチェックして送付すべきと思う。
- ・インターネット回答にて30分かけて答えたのに送信失敗。更新したらデータが消えた。改善してほしい。
- ・初めてこのようなアンケートに参加。またこのようなアンケートを初めて知りました。
- ・アンケートの内容が小難しく長いものが多かったため大変だった。時間が取れない人もいると思うので地域を良くしたい気持ちは分かるがもう少し短くしても良いと思う。またアンケートをしたからにはしっかり議論し皆の意見を反映してほしい。せっかく時間を取ってやったのだからうやむやにしないでほしい。何か変化がある事を期待しています。
- ・アンケートが活かされて住民誰もが安心して暮らす事のできる鎌ヶ谷市となります事を期待しています。
- ・アンケートの回答率を教えてください。

## ⑩市政全般について

- ・もう少し若い人達の意見が言える環境を整えて欲しい。高齢の方の意見も大事だが支える側も大切にしたい。
- ・誰しものが福祉サービスを受けることは必要ですが、具体的に申請、サービスを受ける手続きが煩雑、手順が必要です。この点の打開が必要と思います。
- ・以前松戸市に「なんでやる課」という取り組みがあったかと思います。高齢者一人暮らしの場合、日常の何でもない事で出来ない事、出来ないけど命に関わる事では無いから我慢してしまう事が多々あります。その様な何でもない事を知って頂き、ほんの少し手伝って頂けるような、取り組みをして頂けると安心して生活を送れるのではないかと思います。大変な労力と思いますが、実現に向けてご尽力いただければ幸いです。
- ・鎌ケ谷市の中での地域差があり、まちづくりがされている地域とそうでない地域が多々あり、私の住む地域で子育て支援が少ないとずっと思っています。
- ・鎌ケ谷で生まれ、特に引越す理由もなく鎌ケ谷に住み続けていますが、正直に申し上げると長く住み続けるメリットを感じる事ができません。特に高齢者と子育て世代にメリットが多くあれば、他の市よりも安心して暮らせると思います。また、鎌ケ谷市は市民のスポーツ支援にはあまり力を入れていないと感じられる所が非常に残念です。健康都市宣言をしているにもかかわらず、環境整備でさえ鎌ケ谷市は協力的でないと感じます。
- ・福祉の向上を目的に個々の施策を行うのみでなく、市民が鎌ケ谷を愛せる、誇りに思う気持ちが高まれば、自ずと福祉への関心が高まると思う。このため、市として、引き続き総合的なレベル向上に努めていただきたい。

## ⑪その他

- ・夜間の小児科を市内に置いて欲しい。市内に有る公園を定期的に整備して欲しい。(砂場の砂が少なくなっている公園が有り、遊具のチェック、ゴミの掃除等のメンテナンス。)
- ・現在難病指定を受けて、病院に通院しているが、船橋、柏や松戸方面にしか扱える病院がない。もっと医療関係を充実してほしいと思う。
- ・今、公園は子ども用ですが大人の健康のためにも外へ出て体を動かせるように大人用の用具があると良いなと思います。
- ・地域活動もポイントカード制にすれば子どもから大人まで楽しめるし、ポイント貯めるために参加する人が増えると思う。
- ・自分さえ良ければいいと言う人が少しでもなくなればいいなと思います。
- ・東初富は住宅となり、病院や店等無くなり年を取ると心配です。
- ・個人情報等で行政、個人等が入り込めない事があり、なかなか協力する事が難しい時代になっています。個人としては、触らぬ神に祟りなしといったところです。

## 5 資料編

### (1) 調査票

#### 鎌ヶ谷市地域福祉に関する市民アンケート ご協力をお願い

日ごろより福祉行政にご協力をいただき、ありがとうございます。

私たちの地域には、ひとり暮らしの高齢者、障がいのある方、子育て中の家庭等、安心して生活を送るために、何らかの支援を必要としている方がいます。また、誰にも悩みごとを相談できず、社会から孤立している人を見つけて、支援につなげることも必要です。

こうした中、誰もが住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らせるよう、市民と福祉関係者、行政がお互いに協力しながら“**思いやりと支えあいのあるまち かまがや**”を形づくる地域福祉の取組がますます重要となっています。

このため、鎌ヶ谷市では、地域福祉を推進する計画の策定に生かすため、その基礎資料として「地域福祉に関する市民アンケート」を実施することにしました。

この調査は、市内にお住まいの18歳以上の方から3,000人を選ばせていただきました。いただいた回答の結果は、統計的に処理しこの調査の目的外に使用することはありません。

つきましては、趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

令和2年2月 鎌ヶ谷市

#### ご記入にあたってのお願い

- 1 回答は「あて名」のご本人がしてください。  
何らかの理由でご本人の記入が困難な場合は、「ご家族の方がご本人の代わりに回答すること」や「ご家族とご相談のうえ回答すること」も可能です。
- 2 回答は分かる範囲でこの冊子に直接ご記入ください。回答方法は、それぞれの設問の文末に記入しています。（例：ひとつだけ○、あてはまるものすべてに○）
- 3 お答えで「その他」を選んだときは、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。
- 4 本調査は、パソコンやスマートフォン等を使用して「インターネットから回答」ができます。下記、URLまたはQRコードからアクセスし、ご回答ください。  
途中保存はできませんので、お時間の余裕がある際にご回答ください。  
【 URL 】 [https://questant.jp/q/kamagaya-questionnaire\\_vol102](https://questant.jp/q/kamagaya-questionnaire_vol102)



ご記入が終わりましたら、**3月9日（月）**までにご返送ください。

#### 【返送方法】

- 1 同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函（お名前やご住所の記入は不要）
- 2 インターネットから回答（本調査票を郵送していただく必要はございません。）



#### 《 問い合わせ先 》

〒273-0195 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2丁目6番1号  
鎌ヶ谷市役所 社会福祉課  
電話 047-445-1286 FAX 047-445-2113

**1. あなたご自身についておたずねします。**

問1 あなたの性別は。(ひとつだけ○)

1	男性	2	女性	3	1、2に該当しない
---	----	---	----	---	-----------

問2 あなたの年代は。(ひとつだけ○)

1	10歳代	4	40歳代	7	70歳代
2	20歳代	5	50歳代	8	80歳代以上
3	30歳代	6	60歳代		

**2. お住まいや居住の状況についておたずねします。**

問3 あなたがお住まいの地域は。(ひとつだけ○)

1	中央	道野辺中央、道野辺本町、初富本町、右京塚、南初富4～6丁目、中央、富岡、初富(928～931番地)、新鎌ヶ谷
2	中央東	東鎌ヶ谷、東初富、南初富1～3丁目、初富(700～927番地)
3	東部	丸山、鎌ヶ谷、東道野辺2～7丁目、南鎌ヶ谷
4	南部	東中沢、東道野辺1丁目、西道野辺、馬込沢、道野辺、中沢、北中沢、中沢新町
5	西部	くぬぎ山、栗野(426～538番地)、佐津間(1300番地～)、串崎新田、北初富、初富(1～399番地・1300番地～)
6	北部	栗野(1～425番地・539番地～)、佐津間(1～1299番地)、中佐津間、西佐津間、南佐津間、軽井沢

問4 現在のお住まいでの居住年数は。(ひとつだけ○)

1	1年未満	4	5年以上10年未満	7	30年以上
2	1年以上3年未満	5	10年以上20年未満		
3	3年以上5年未満	6	20年以上30年未満		

問5 同居家族の構成は(自分も含む)。(ひとつだけ○)

※単身赴任等家族と別居中の人を除いてお答えください。

1	ひとり暮らし
2	1世代世帯(夫婦のみ)
3	2世代世帯(親と同居)
4	2世代世帯(子と同居)
5	3世代世帯(親と子と孫)
6	その他(具体的に: )

問6 同居されているご家族に、18歳未満の子どもや65歳以上の高齢者がいますか。(あてはまるものすべてに○)

1	就学前の子どもがいる
2	小学生・中学生・高校生の子がいる
3	65歳以上の高齢者がいる(ご自身が65歳以上の場合も含めて)
4	いない

3. ご自身の生活の状況についておたずねします。

問7 同居・別居のご家族に、介護が必要な方がいますか。(あてはまるものすべてに○)

1	同居の家族に介護等が必要な人がいる (ご自身の介護が必要な場合も含めて) →どのような方ですか 【 高齢者 ・ 障がい児・者 ・ その他 ( ) 】
2	別居している家族に介護等が必要な人がいる →どのような方ですか 【 高齢者 ・ 障がい児・者 ・ その他 ( ) 】
3	同居・別居の家族に介護等が必要な人はいない
4	その他 (具体的に: )

問8 あなたは仕事に就いていますか。(ひとつだけ○)

1	フルタイムで働いている
2	パートタイムで働いている
3	家事等をしている
4	学生
5	特に仕事をしていない
6	その他 (具体的に: )

問9 あなたの健康状態はいかがですか。(ひとつだけ○)

1	健康
2	ふつう
3	あまり健康ではない
4	健康ではない
5	その他 (具体的に: )

問10 あなたは、日常生活で介護や支援が必要ですか。(ひとつだけ○)

1	介護や支援が必要で、介護保険や障害福祉等のサービスを利用している
2	介護や支援が必要だが、サービスは利用していない
3	特に介護や支援は必要ない
4	その他 (具体的に: )

問11 あなたは、ふだん近所の人とどの程度のお付き合いがありますか。(ひとつだけ○)

1	お互いの家に行き来したりするなど、親しく付き合っている人がいる
2	困ったときには相談したり、支えあったりする人がいる
3	あいさつをする程度の人がいる
4	近所の人と付き合いはあまりない、または、まったくない
5	その他 (具体的に: )

4. 日ごろの悩みや相談の状況についておたずねします。

問 12 あなたは日常生活に関する以下のことで、困ったり不安に感じたりしていることがありますか。

(【ア】から【タ】のそれぞれについて、ひとつだけ○)

	現在、困っている	今後5年ぐらいの間に困るかもしれない	将来は不安がある	特に困ったり不安は感じていない
【ア】日常の買い物	1	2	3	4
【イ】調理や洗濯等の家事	1	2	3	4
【ウ】家具の移動等の力仕事	1	2	3	4
【エ】ごみ出しや掃除、片付け	1	2	3	4
【オ】自分や家族の介護	1	2	3	4
【カ】子育てや子どもの教育	1	2	3	4
【キ】日常の外出や交通機関の利用	1	2	3	4
【ク】話し相手や相談相手がいらない	1	2	3	4
【ケ】緊急時に支えてくれる人がいない	1	2	3	4
【コ】地震や台風等の自然災害	1	2	3	4
【サ】地域の治安	1	2	3	4
【シ】自分の健康状態	1	2	3	4
【ス】経済的な状況	1	2	3	4
【セ】就労や雇用の状況	1	2	3	4
【ソ】お金の管理や契約等の判断	1	2	3	4
【タ】家族やまわりの人との人間関係	1	2	3	4

● その他で現在困っていることや今後不安なことがあればお書きください。

( )

問 13 問 12 でお聞きしたような日常生活の困りごとや不安を解決していくため、あなたがしていること(したことがありますか。(あてはまるものすべてに○))

※ 一部の困りごとや不安に対してしている(したこと)もあげてください。

1	困りごとや不安に感じていることはない
2	家族や友人、知人等に相談した
3	市や専門機関、専門家等に相談した
4	相談以外で、具体的な行動をした→行動の内容は( )
5	相談や行動をしたいと思うが、していない
6	それほどのことではないので、なにもしていない
7	困りごとや不安に感じることはあるが、どうすればよいのかわからない
8	今後、困りごとや不安を感じた場合、相談や行動をしたいと思っている
9	その他(具体的に: )

問 14 あなたは、あなた自身や家族に福祉に関する困りごとが起きた場合、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1	家族や友人等身近な人
2	市役所や社会福祉協議会、地域包括支援センター、児童相談所等の相談機関
3	地域の民生委員・児童委員、人権擁護委員
4	NPOや市民による支援グループ等の民間組織
5	医師や教師、ケアマネージャー、保育士、福祉施設職員等の身近な専門家
6	新聞やテレビで情報を入手
7	市のホームページや広報で情報を入手
8	インターネット（市のホームページ以外）で情報を入手
9	その他（具体的に： _____）
10	相談しない

**5. 災害時の対応についておたずねします。**

問 15 あなたは、地震や台風等の災害時の避難に関して、不安を感じていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	災害時に情報を得られるか不安である
2	避難等の判断が的確にできるか不安である
3	避難所を知らない
4	自力で避難所まで行くことが難しい
5	家族が安全に避難できるか不安である
6	家具等を固定したいが、自力で固定できない、または方法が分からない
7	避難所で体調を崩さないか不安である
8	避難所での生活になじめるか不安である
9	どんな災害が起きるかわからない
10	近所に安全に避難できるか気がかりな人がいる
11	その他（具体的に： _____）
12	特に不安を感じていることはない

問 16 あなたは、災害時の対策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	災害時に支援を必要とする人の把握
2	災害時に支援を必要とする人と面談して、支援方法を確認する（個別支援計画の作成）
3	支援する人（支援者）の確保
4	災害時の支援班、支援団体づくり
5	防災訓練・避難訓練
6	防災マップの作成
7	自主防災組織※の立ち上げ
8	災害時に活躍できるボランティアの養成
9	高齢者や乳幼児等の要支援者対象の物資
10	その他（具体的に： _____）

※自主防災組織：自治会・町会等を中心に、地域の住民が防災活動をする組織

6. 「地域」との関わりについておたずねします。

問 17 あなたは、家族や親族以外で、地域で気がかりな人がいますか。(あてはまるものすべてに○)

1	いる ⇒問 18 へ
2	特にいない ⇒問 20 へ
3	その他(具体的に: ) ⇒問 20 へ
4	わからない ⇒問 20 へ

問 17 で「1 いる」を選んだ人におたずねします。

問 18 気がかりなのは、どのような方ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	本人や家族の介護で困っている
2	子育てで困っている
3	経済的に困っている
4	虐待や暴力(恐れも含む)を受けている
5	ひきこもって学校や仕事に行けない
6	地域から孤立している
7	その他(具体的に: )

問 19 その人に対して、あなたはなにかをしていますか(しましたか)。(あてはまるものすべてに○)

1	気にかけて、見守っている
2	相談にのったり、助けたりしている(した)
3	市や専門機関、地域の人等に相談している(した)
4	支援したいが、本人や家族等から拒否されている(された)
5	支援したいが、どうすればよいかわからない
6	その他(具体的に: )
7	特になにもしていない

全員におたずねします。

問 20 日常生活の困りごとや不安を解決するひとつの方法として、地域の人に相談する、身の周りのことを手伝ってもらうなど地域の人にも支えてもらうことについて、あなたはどう思いますか。(ひとつだけ○)

1	現在、支えてもらっていることがある
2	今後は支えてほしいと思う
3	災害時等には支えてほしいと思う
4	支えてほしいが、難しいと思う
5	地域の人に支えてほしいと思わない
6	その他(具体的に: )
7	わからない

問 21 あなたの家は自治会に加入していますか。(ひとつだけ○)

1	加入している ⇒問 22 へ
2	加入していない ⇒問 23 へ
3	以前は加入していたが、今は加入していない ⇒問 23 へ

問 21 で「1 加入している」を選んだ人におたずねします。

問 22 あなたは、どのような方法で自治会に加入しましたか。(ひとつだけ○)

1	自治会長・役員からの勧誘
2	近隣の方の仲介
3	自ら自治会長・役員に連絡
4	集合住宅（アパート、マンション等）で一括して加入
5	市役所の取次ぎ
6	市ホームページから申込み
7	その他 (具体的に： )
8	わからない

問 21 で「2 加入していない」「3 以前は加入していたが、今は加入していない」を選んだ人におたずねします。

問 23 あなたの家が自治会に加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	加入方法がわからないため
2	加入するきっかけ（勧誘等）がないため
3	忙しくて活動する時間がないため
4	高齢・病気等により、活動に参加できないため
5	活動に魅力がないため
6	何の活動をしているのかわからないため
7	役員をやりたくないため
8	人間関係がわずらわしいため
9	会費を払うのが負担であるため
10	運営方法に不満があるため
11	その他 (具体的に： )

7. 地域活動、福祉活動の状況についておたずねします。

問 24 あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取組んでいますか。(ひとつだけ○)

1	現在、継続的に取組んでいる
2	たまに、取組むことがある
3	取組んだことはあるが、現在はほとんどしていない
4	取組んだことはない
5	取組むことができない

問 25 あなたは、お住まいの地域の次のどのような活動に参加したことがありますか。また、現在は参加してなくて、今後参加したいと思うものがありますか。〔【ア】から【ク】のそれぞれについて、ひとつだけ○〕

	現在、参加している	以前、参加したことがある	今後、参加したい
【ア】地域のおまつりやイベント	1	2	3
【イ】スポーツや健康づくりの活動	1	2	3
【ウ】文化活動や趣味のサークル等の活動	1	2	3
【エ】地域の防災や防犯のための活動	1	2	3
【オ】道路や公園等の清掃活動	1	2	3
【カ】自治会、女性会、老人会、子ども会等の運営	1	2	3
【キ】その他	1	2	3
【ク】特にない	1	2	3

● 「その他」で参加している活動や、「こんな活動があれば参加したい」と思うものがありますか。

( )

問 26 あなたは、地域の活動への参加について、気になることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	参加したいと思う活動がない
2	活動の情報が得にくい
3	参加する時間がない
4	参加するきっかけがない
5	地域と関わるのが面倒である
6	地域の活動に参加すると嫌な思いをする
7	活動の企画や運営に参加したいが、機会がない
8	1～7のようなことは特に感じない

● その他、地域の活動について感じていることがあればお書きください。

( )

問 27 あなたは、広域での活動も含め、福祉の活動に参加していますか。また、現在は参加してなくて、今後参加したいと思うものがありますか。(【ア】から【キ】のそれぞれについて、ひとつだけ○)

	現在、参加している	以前、参加したことがある	今後、参加したい
【ア】高齢者や子ども等の見守りや声かけの活動	1	2	3
【イ】住民が交流する場(サロン等)の活動	1	2	3
【ウ】ちょっとした困りごとを支えあう活動	1	2	3
【エ】その他の身近な地域での福祉活動	1	2	3
【オ】ボランティア活動やNPO活動	1	2	3
【カ】その他	1	2	3
【キ】特にない	1	2	3

● 「その他」で参加している(したい)活動や、ボランティア・NPO活動の内容をお書きください。

( )

問 28 市民による福祉活動について、課題だと思うことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	活動に参加する人が少ない、または、固定化している
2	活動する人の負担が大きい
3	決まった活動が多く、自分がしたいことがやりにくい
4	「支援する人」から「支援される人」への一方的な活動になりやすい
5	活動する場所や費用の確保が大変である
6	活動に関する情報や助言が得にくい
7	活動が楽しくない
8	その他 (具体的に： )
9	特に課題だと感じることはない、または、わからない

問 29 あなたは、福祉活動に参加する人を増やすには、どのような取組を特に優先的に進めるのがよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	参加できる活動の情報を発信する
2	福祉について学ぶ機会を増やす
3	気軽に相談できるようにする
4	やりたい活動につなぐ
5	一緒に参加するよう声をかけて誘う
6	大きな負担がなく、気軽に参加できる活動を増やす
7	楽しくできる活動を増やす
8	近くでできる活動を増やす
9	ボランティア休暇等、活動の時間をつくれるようにする
10	交通費や報酬が得られる活動を増やす
11	報酬の代わりに、ポイントがたまるしくみをつくる
12	活動が社会的に評価されるようにする
13	その他 (具体的に： )
14	特になし、または、わからない

8. 障がいのある方との関わりについておたずねします。

問 30 あなたの身近に障がいのある方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1	自分自身が障がいを持っている
2	友人、知人にいる
3	家族、親族にいる
4	職場にいる
5	学校にいる
6	近所にいる
7	その他 (具体的に： )
8	いない
9	知らない、わからない

問 31 障がいのある方に関する話題や活動、ニュース等に、どのくらい関心がありますか。(ひとつだけ○)

1	大いに関心がある
2	少しは関心がある
3	どちらともいえない
4	あまり関心がない
5	まったく関心がない
6	わからない

問 32 障がいのある方を手助けしたことがありますか。(ひとつだけ○)

1	ある ⇒問 34 へ
2	ない ⇒問 33 へ

問 32 で「2 ない」を選んだ人におたずねします。

問 33 それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

1	たまたま機会がなかったから
2	自分が何をすればよいかわからなかったから
3	どのように接したらよいかわからなかったから
4	自分にとって負担になるような気がしたから
5	その他 (具体的に： )
6	特に理由はない

全員におたずねします。

問 34 あなたは障がいのある方を支援する活動に参加したことがありますか、また、現在は参加していません、今後参加したいと思うものがありますか。〔【ア】から【ケ】のそれぞれについて、ひとつだけ○〕

	参加したことがある	今後、参加したい	参加したいとは思わない
【ア】障がい福祉施設でのボランティア	1	2	3
【イ】地域で生活する障がい者へのボランティア	1	2	3
【ウ】障がい者のレクリエーション、交流活動のボランティア	1	2	3
【エ】手話や要約筆記、点訳、音訳等の活動	1	2	3
【オ】福祉フェアや福祉施設のおまつり等への参加	1	2	3
【カ】障がい者施設等で作られた製品の購入	1	2	3
【キ】募金、寄付	1	2	3
【ク】困っている障がい者を見かけたら手助けする	1	2	3
【ケ】その他	1	2	3

● 「その他」で参加している活動や、「こんな活動があれば参加したい」と思うものがありますか。

( )

問 35 障がいのある方に対する差別・偏見があると思いますか。(ひとつだけ○)

1	ある ⇒問 36 へ
2	ない ⇒問 37 へ

問 35 で「1 ある」を選んだ人におたずねします。

問 36 障がいのある方に対する差別・偏見、または理解のなさはどのようなところにあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	仕事
2	建物の構造
3	地域の人の接し方や態度
4	収入
5	交通機関
6	教育の機会
7	お店等の店員の対応や態度
8	行政職員の対応や態度
9	保育所や学校の対応
10	その他 (具体的に : )

全員におたずねします。

問 37 障がいのある方への理解を深め、差別や偏見をなくすために何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	障がいの特徴を知り、理解を深めるための情報共有や勉強会の充実
2	幼い頃からの障がいについての教育の充実
3	障がいのある方とない方との交流の場の充実
4	障がいのある方の社会参加の促進
5	福祉施設と地域住民の交流機会の充実
6	障がいのある方のまちづくりへの参加
7	障がいのある方へのボランティア活動の推進
8	その他 (具体的に : )
9	特にない

9. 福祉に関するお考えについておたずねします。

問 38 あなたは、福祉に関心がありますか。(ひとつだけ○)

1	関心がある
2	関心がない
3	どちらともいえない
4	その他(具体的に: )

問 39 あなたは、地域の福祉を充実するために、鎌ヶ谷市はどのようなことに特に優先的に取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	福祉に関する情報の提供	15	地域住民のつながりづくり
2	身近な相談窓口の整備	16	地域住民が集う拠点づくり
3	高齢者・障がい者等の介護や生活支援	17	地域での支えあいの活動
4	子育ての支援	18	支援が必要な人を発見する取組
5	孤立した人やひきこもりの人への支援	19	住宅の確保や住環境の整備
6	経済的に困窮している人への支援	20	バリア(障壁)のない環境づくり
7	就労のための支援	21	公共交通の整備や移動の支援
8	年金等の社会保障制度の充実	22	防災や災害時に支援が必要な人への対応
9	健康づくり支援	23	犯罪や事故のない安全なまちづくり
10	医療の充実	24	虐待や差別の防止
11	こころの健康に関する支援	25	福祉に関わる団体や機関のネットワーク
12	認知症の人等の権利擁護	26	その他 (具体的に: )
13	福祉の心を育てる取組		
14	ボランティアやNPO活動への支援	27	特になし、または、わからない

問 40 上記の問 39 の取組で、地域や民間の団体・事業者等が積極的に取り組むべきだと思うものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	福祉に関する情報の提供	15	地域住民のつながりづくり
2	身近な相談窓口の整備	16	地域住民が集う拠点づくり
3	高齢者・障がい者等の介護や生活支援	17	地域での支えあいの活動
4	子育ての支援	18	支援が必要な人を発見する取組
5	孤立した人やひきこもりの人への支援	19	住宅の確保や住環境の整備
6	経済的に困窮している人への支援	20	バリア(障壁)のない環境づくり
7	就労のための支援	21	公共交通の整備や移動の支援
8	年金等の社会保障制度の充実	22	防災や災害時に支援が必要な人への対応
9	健康づくり支援	23	犯罪や事故のない安全なまちづくり
10	医療の充実	24	虐待や差別の防止
11	こころの健康に関する支援	25	福祉に関わる団体や機関のネットワーク
12	認知症の人等の権利擁護	26	その他 (具体的に: )
13	福祉の心を育てる取組		
14	ボランティアやNPO活動への支援	27	特になし、または、わからない

問 41 あなたは、どこかで福祉について話を聞いたり、学んだりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	小学校・中学校の総合学習等の授業
2	地域で開催された福祉の講座等
3	職場で開催された福祉の講座等
4	市や社会福祉協議会、専門機関の講座等
5	高校や大学等で福祉を学んだ
6	家族等から学んだ
7	その他 (具体的に： )
8	特に福祉について話を聞いたり、学んだりしたことはない

制度や分野による縦割りや、支え手・受け手という一方的な関係を超越して支えあう社会をめざす「地域共生社会」の実現が国において新たな目標として示されています。

問 42 「地域共生社会」では、多様な生活課題に制度等の枠を超えて横断的に対応する相談支援体制が求められますが、鎌ヶ谷市でそうした包括的な相談支援の仕組みを充実していくうえで、特に優先的に力をいれて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(ひとつだけ○)

1	市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする
2	より身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所等の相談を充実する
3	相談に行けない人(行かない人)を発見し、窓口につなぐ取組を充実する
4	相談を支援に結びつけるよう、関係者のネットワークを充実する
5	課題を解決するため、サービスや社会資源を開発する取組を充実する
6	相談しやすいように、窓口の開設時間や相談を受ける方法を改善する
7	その他 (具体的に： )

生活困窮者自立支援制度は、現在は生活保護を受けるまでもないものの、経済的な面で生活に困っている人で、自立が見込まれる人を対象に、困りごとに関わる相談に応じ、安定した生活に向けて仕事や住まい、子どもの学習等さまざまな面で支援する制度です。

問 43 あなたは、生活困窮者自立支援制度について知っていますか。(ひとつだけ○)

1	制度に基づく事業を利用したことがある
2	制度に基づく事業を利用したことがないが、内容は知っている
3	名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない
4	名称も内容も知らない

成年後見制度は、認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力が十分でない人の権利や財産を守り、本人の意思を尊重して自分らしい生活を送ることができるようにするために、支援する人(成年後見人等)を設ける制度です。

問 44 あなたは、成年後見制度について、次のようなことを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	成年後見制度は、認知症や精神障がい、知的障がい等で判断能力が十分でない人が利用できる
2	成年後見制度は、本人の判断能力に応じて「後見」「保佐」「補助」の3つのタイプがある
3	後見人等は、財産管理やサービスの契約等の法律行為を支援する
4	将来に備えてあらかじめ後見人を選んでおく「任意後見制度」がある
5	成年後見制度について相談を受ける窓口がある
6	成年後見制度は聞いたことがあったが、このなかに知っていることはない
7	成年後見制度自体を知らなかった

問 45 あなたは、支援が必要になったときには、成年後見制度を利用したいと思いますか。(ひとつだけ○)

1	将来に備えて後見人を選んでおきたい
2	必要になれば利用したい
3	利用したいと思わない
4	その他 (具体的に： )
5	わからない

問 46 あなたは、鎌ヶ谷市が成年後見制度の利用を促進するうえで、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	市民や関係者に制度を周知するよう、情報提供や広報を充実する
2	支援が必要な人を発見し、相談や支援につなげる取組を充実する
3	市民後見人(後見活動を行うボランティア)も含め、支援の担い手づくりを充実する
4	支援や連携の中核機関(成年後見センター)を設立する
5	手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする
6	制度を利用するための経済的な負担を軽減する
7	その他 (具体的に： )
8	わからない

犯罪や非行をした人が円滑に社会に復帰し、再び罪を犯さないようにして安全・安心な社会をつくるため、「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行されました。国や地方公共団体は、再犯防止の取組を進めることとされており、その取組の一つとして国民の関心や理解を高め、協力を呼びかけています。

問 47 あなたは、こうした取組が進められていることを知っていましたか。(ひとつだけ○)

1	再犯防止の取組を知っており、協力している
2	特に協力はしていないが、取組は知っている
3	聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった
4	知らなかった
5	その他(具体的に: )

問 48 あなたは、再犯防止の取組を進めることについて、どのように思いますか。(ひとつだけ○)

1	再犯防止の取組に協力したい(今後も協力を続けたい)
2	積極的に協力することは難しいが、取組んでいる人(保護司等)や団体を応援したい
3	自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う
4	犯罪や非行をした人を支援する取組は、特に必要ないと思う
5	その他(具体的に: )
6	わからない

#### 10. 地域の福祉に関するご意見、ご提案

最後に、地域住民が支えあい、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりについてご意見、ご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。

以上で、アンケートは終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。

このアンケートは、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて

3月9日(月)までにお近くのポストへ投函してください。

鎌ヶ谷市地域福祉に関する市民アンケート報告書

編集・発行 鎌ヶ谷市 健康福祉部 社会福祉課

〒273-0195

千葉県鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 2-6-1

TEL 047 (445) 1286

FAX 047 (445) 2113

E-mail [syafukusyomu@city.kamagaya.chiba.jp](mailto:syafukusyomu@city.kamagaya.chiba.jp)